

2024 年度

学 生 募 集 要 項

社会安全研究科

関西大学大学院

個人情報の取扱いに関する重要事項

関西大学大学院では、入学試験の出願にあたってお知らせいただいた個人情報（住所、氏名、電話番号など個人を特定しうる情報、以下「個人情報」という。）について、法令および関西大学大学院個人情報保護方針に従って取扱います。

関西大学大学院個人情報保護方針については、本学ウェブサイトのトップページ (<https://www.kansai-u.ac.jp/>) から「個人情報の取扱い」をご参照ください。

1 個人情報の利用目的

志願者の個人情報については、以下の利用目的の達成に必要な範囲内でのみ利用します。

- (1) 入学試験実施
- (2) 合格者発表
- (3) 入学までの諸手続

2 個人情報の管理

関西大学大学院では、上記1の目的で収集した志願者の個人情報について、個人情報保護管理者を定め厳重に管理し、一定期間保管後、法令等に基づき適切に廃棄します。

3 個人情報の共同利用について

次の外郭団体は、下記の目的および情報に限定して、個人情報を本学と共同して利用します。
関西大学共済会（以下「共済会」という。）

共済会は、学生生活の向上を図ることを目的として、傷病、入院、死亡、賠償責任等に係る共済制度を実施しています。

＜利用の目的および情報は以下のとおりです。＞

- 入学金（入学登録金）納入者の手続番号、氏名、住所、電話番号、生年月日、研究科・専攻・専修の情報（共済掛金の納入状況確認および共済会加入手続きのため）

4 個人情報の第三者提供について

関西大学大学院では、志願者本人の同意があった場合、または、法令に基づく場合を除き、個人情報を第三者に提供することはありません。

5 個人情報の預託について

上記1に関する業務について、その一部を業者に委託することがあります。個人情報の預託にあたり、個人情報保護水準が十分な業者を選定し、志願者の個人情報の取扱いに関する条項を設けた契約を結んだうえで、関西大学大学院の個人情報保護方針に従った方法により適切に取扱うよう管理します。

6 関西大学大学院入学試験の統計資料について

関西大学大学院では、個人が特定されない状態で入学試験の統計資料を作成しています。この統計資料は、関西大学大学院進学希望者への情報提供、当該データの分析および今後の関西大学大学院入学試験のために利用します。

7 個人情報の開示、訂正、削除について

志願者から個人情報の開示、訂正、削除の請求があった場合、志願者本人であることを確認後、法令・基準等に基づき、速やかに対応します。なお、入学試験の合否判定の評価に関する事項については開示しません。

8 問い合わせ窓口

個人情報の開示、訂正、削除等、志願者の個人情報に関するお問い合わせは、関西大学入試センター大学院入試グループにご連絡ください。

関西大学 入試センター 大学院入試グループ

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号 TEL: 06-6368-1121 (大代表)

「災害救助法適用地域」で被災した入学試験受験生に対する経済支援特別措置について

関西大学大学院では、「災害救助法適用地域」で被災した受験生に対して、入学検定料の減免の特別措置を講じています。

また、入学者に対しては、状況に応じた経済支援を行っています。

詳細については、本大学院入試情報サイトにてお知らせしていますので、ご確認ください。

目次

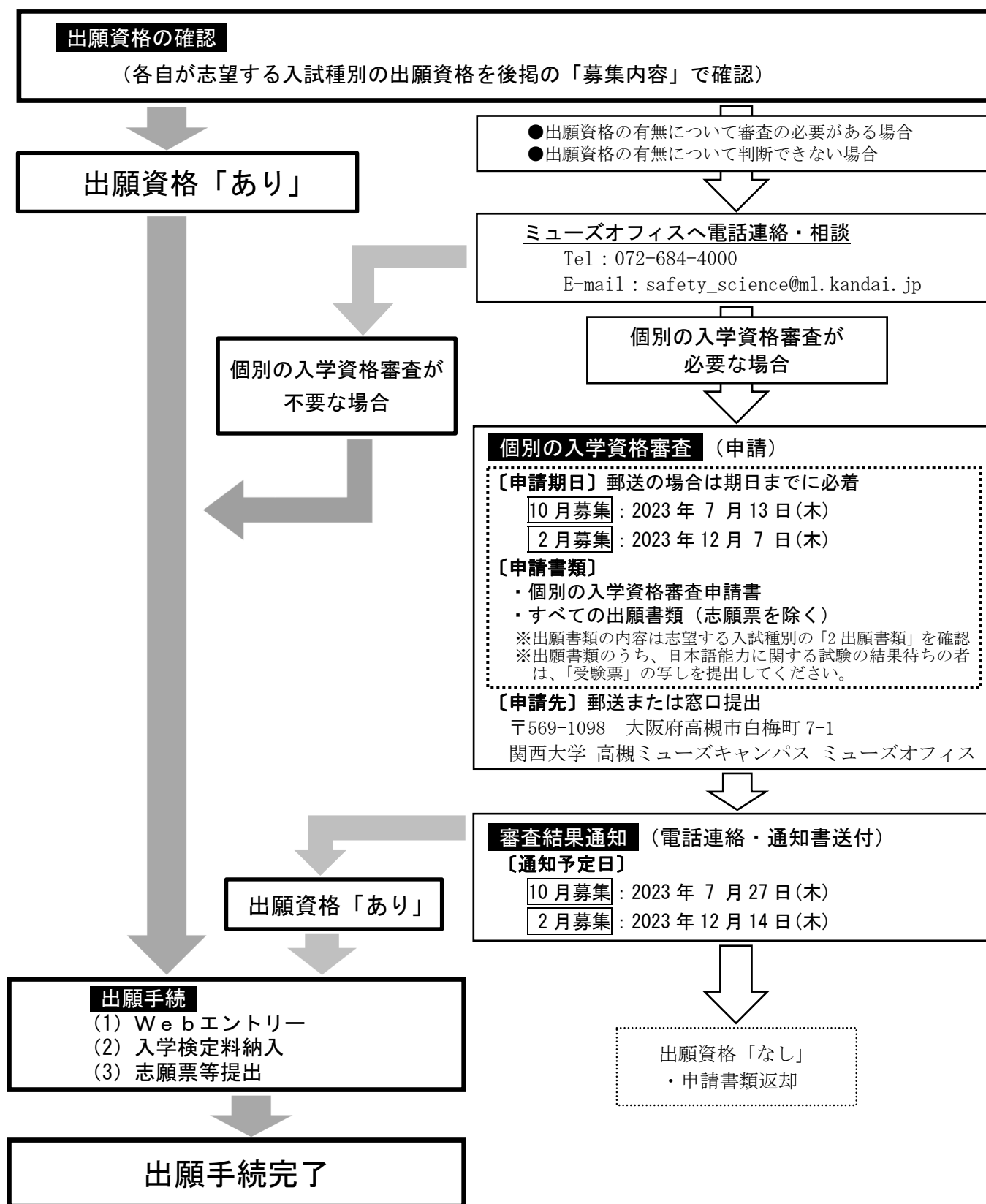
個人情報	の取扱いに関する重要事項	
I	出願前の確認	1
II	入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)	2
III	2024年度入学試験日程および各種手続期間一覧	2
IV	出願の流れについて	3
1	Web エントリーサイトにアクセス	3
2	Web エントリーの流れを確認し、出願登録を開始	3
3	利用規約・個人情報の取扱いに関する同意条項を確認	3
4	志望情報①を入力	4
5	志望情報②を入力	4
6	個人情報を入力	4
7	出願内容の確認	5
8	入学検定料の納入方法を選択	5
9	出願登録の完了	5
10	入学検定料の納入	6～9
11	出願書類の提出	9～10
12	受験票のダウンロード	10
13	入学試験日	10
◆	「受験者」に対する短期滞在査証取得のためのサポートについて	11
V	募集内容	
■	博士課程前期課程 募集研究科・専攻および入学定員	12
	一般入学試験(10月募集・2月募集)	13～15
	外国人留学生入学試験(10月募集・2月募集)	16～18
	社会人入学試験(10月募集・2月募集)	19～21
	2024年度 社会安全研究科 演習テーマおよび指導教員一覧(博士課程前期課程)	22～26
■	博士課程後期課程 募集研究科・専攻および入学定員	27
	一般入学試験(10月募集・2月募集)	28～30
	外国人留学生入学試験(10月募集・2月募集)	31～33
	社会人入学試験(10月募集・2月募集)	34～35
	2024年度 社会安全研究科 演習テーマおよび指導教員一覧(博士課程後期課程)	36
VI	共通事項	
1	障がいのある受験生等への受験上の配慮および修学上の配慮について	37
2	安全保障輸出管理について	37
3	受験上の注意	37～38
4	入学試験実施に際しての対応について	39
5	合格者発表	40
6	入学手続について	40
7	在留資格「留学」の取得について	41
8	2024年度 学費・諸費	42
9	奨学金のご案内	43～45
10	関西大学への主な交通機関	46
11	試験場のご案内	47

出願書類に関する注意事項

- ・ 出願書類一覧(チェックリスト)
- ・ 志望理由書
- ・ 個別の入学資格審査申請書

Web エントリーに関する Q&A

I 出願前の確認



出願資格の再審査について

以下の場合には個別の入学資格の再審査を経ずに出願を認めます。

ただし、同一研究科への申請かつ、申請者の学歴に変更が生じない場合に限りです。

- (1) 個別の入学資格審査の結果、出願資格を一度認められた者が、同一入学年度内の他の日程に出願する場合
- (2) 外国人研究生として個別の入学資格審査を受け、出願資格を認められた在学生在が、引き続き外国人留学生入学試験を出願する場合

Ⅱ 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

前期課程

社会安全研究科では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けることのできる者として、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた入学者を受け入れます。

- 1 社会安全に関する課題に強い関心を持ち、社会安全分野における基礎的な知識・技能を修得している。
- 2 社会安全に関する課題をグローバルな視野に立って自ら考え、法学・政治学、経済・経営学、社会学、心理学、理学、情報学、工学、労働・社会医学などの多角的な視点から問題に切り込みつつ、強いリーダーシップを発揮して社会に貢献できる。
- 3 社会安全に関する課題解決に向け、主体的に取り組む強い意欲を持っている。

後期課程

社会安全研究科では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けることのできる者として、次に掲げる知識・技能、資質・能力及び態度を備えた入学者を受け入れます。

- 1 社会安全に関する諸問題に強い関心を持ち、社会安全分野における専門的知識・技能を修得している。
- 2 社会安全に関する諸課題をグローバルな視野に立って自ら考え、法学・政治学、経済・経営学、社会学、心理学、理学、情報学、工学、労働・社会医学などの多角的な視点から問題に切り込みつつ、社会安全研究領域を創設するとともに、防災・減災の実現のための理論創造と政策提言に寄与できる。
- 3 社会安全に関する課題解決に向け、主体的に取り組む強い意欲を持っている。

Ⅲ 2024年度入学試験日程および各種手続期間一覧

出願手続は、Web エントリー、入学検定料の納入、出願書類の提出により完了します。Web エントリーのみでは出願したものとして取り扱いません。出願に際しては本冊子に記載の内容を十分に確認して手続きしてください。

日 程	10月募集		2月募集	
入学定員	【防災・減災専攻】 前期課程：15名 後期課程：5名			
課 程	前期課程	後期課程	前期課程	後期課程
入試種別	<ul style="list-style-type: none"> ■一般入学試験 ■外国人留学生入学試験 ■社会人入学試験 	<ul style="list-style-type: none"> ■一般入学試験 ■外国人留学生入学試験 ■社会人入学試験 	<ul style="list-style-type: none"> ■一般入学試験 ■外国人留学生入学試験 ■社会人入学試験 	<ul style="list-style-type: none"> ■一般入学試験 ■外国人留学生入学試験 ■社会人入学試験
Web エントリー期間 入学検定料納入期間 出願書類提出期間	2023年8月18日(金)～9月1日(金)		2023年12月22日(金) ～2024年1月12日(金)	
受験票ダウンロード 開始日	2023年10月2日(月)		2024年2月19日(月)	
試験日	2023年10月7日(土) (予備日)2023年10月14日(土)		2024年2月24日(土) (予備日)2024年2月25日(日)	
合格者発表日	2023年10月13日(金) (予備日)2023年10月27日(金)		2024年3月1日(金)	
入学手続Ⅰ-(1)	2023年10月13日(金)～10月27日(金) (予備日)2023年10月27日(金)～11月10日(金)		2024年3月1日(金)～3月15日(金)	
入学手続Ⅰ-(2) 入学手続Ⅱ	2024年2月16日(金)～3月15日(金)			

※入試種別ごとの募集人員は設定していません。

【予備日の設定について】

台風接近による暴風警報発令および交通機関運行停止により試験を延期する場合は、上記のとおり予備日に実施します。その場合は、試験当日7時に本大学院入試情報サイトに掲載します。

校内進学試験の学生募集要項は関西大学大学院入試情報サイト (https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/) で案内しています。

IV 出願の流れについて

出願手続

次の手順により、出願手続を行ってください。

①Web エントリーを行う

②入学検定料を納入する

③出願書類を提出する

- 出願手続には、上記①～③の全ての手続が必要です。
- Web エントリーは、各日程の Web エントリー期間の締切日 23 : 00 までに完了してください。
- Web エントリーで入力された情報については、試験実施、合格者発表等、入学までの諸手続に利用します。

※ Web エントリーサイトのデザイン、文言等は変更になる場合があります。

1 Web エントリーサイトにアクセス

- Web エントリーサイト

<https://www.webshutsugan.com/kansai-u/>

注1 パソコンからの利用を推奨します。

注2 「個別の入学資格審査」対象者は、出願資格が認められた後に Web エントリーを行ってください。

注3 Web エントリーできない事情がある場合は、各日程の Web エントリー開始日までに大学院入試グループへ連絡してください。

その他、不明な点は巻末の「Web エントリーに関する Q&A」を参照してください。

2 Web エントリーの流れを確認し、出願登録を開始

Web エントリーの流れおよび出願する試験日程を確認し、「出願登録する」をクリックしてください。

Webエントリーの流れ

STEP1 出願に必要な情報を登録・確認する

画面の表示に従って出願に必要な情報を入力し、その内容を確認してください。

STEP2 入学検定料・選考料の納入方法を選択・納入する

入学検定料・選考料の納入方法として「クレジットカードで納入する」か「コンビニ・金融機関ATM【Pay-easy】、ネットバンキングのいずれかで納入する」か「銀行振込で納入する」の中から選択できます。

また、入学検定料・選考料を納入する場合には、入学検定料・選考料の他に下記の支払い手数料が別途必要です。

● [入学検定料・選考料の納入方法について](#)

大学院	入試種別	Webエントリー期間	受付状況
法学研究科	博士課程前期課程 - 学内進学試験 - 一般入学試験 - 外国人留学生入学試験 - 社会人入学試験 博士課程後期課程 - 一般入学試験 - 外国人留学生入学試験 外国人研究生選考(4月受入れ)	**月**日(**)～**月**日(**)	受付中
人間健康研究科	博士課程前期課程 - 学内進学試験 - 一般入学試験 - 外国人留学生入学試験 - 社会人入学試験 博士課程後期課程 - 一般入学試験 - 社会人入学試験 外国人研究生選考(4月受入れ)	**月**日(**)～**月**日(**)	受付中

出願登録する 登録内容を修正する

3 利用規約・個人情報の取扱いに関する同意条項を確認

「利用規約」および「個人情報の取扱い」を確認し、「同意条項に同意する」を選択して、「次へ」をクリックしてください。

利用規約・個人情報の取扱いに関する同意条項

利用規約

目的

この利用規約は、Webエントリー（以下「本サービス」といいます）を利用して、出願の申込をする者（以下「申込者」といいます）と学校法人関西大学（以下「本学」といいます）との間で締結事項を定めています。

出願の申込者

必ず、受験生本人もしくは受験生の保護者が出願の申込をしてください。

出願の確定

申込者が本サービスを利用して、正しい出願情報の登録を行い、本サービスが指定する納入方法で入学検定料・選考料を納入し、出願に必要な書類が本学に受理されたときに、本サービスでの出願が確定します。

申込者が、出願に必要な情報および書類を本学に提供しない場合、出願を受け付けることはできません。

出願情報の登録をした後、出願内容を変更することはできません。

入学検定料・選考料の納入

本サービスの入学検定料・選考料納入には、クレジットカード（VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、DinersClub）、コンビニエ

4 志望情報①を入力

志望情報（研究科・課程・入試種別など）を選択して、入学検定料を確認したら、「次へ」をクリックしてください。

なお、外国人留学生入学試験と外国人研究生選考を併願する場合は、「▼課程」の項目で「博士課程前期課程・外国人研究生との併願」を選択してください。

併願する場合は、それぞれ必要な出願書類が異なりますので注意してください。

5 志望情報②を入力

志望する専修・分野・専修科目・担任者などを選択して、「次へ」をクリックしてください。

6 個人情報を入力

画面の指示に従い、各項目を入力して、「次へ」をクリックしてください。

なお、出身大学が日本国外の大学の方は、巻末の **出願書類に関する注意事項**を確認のうえ、入力してください。

※登録されたメールアドレスに、出願情報の Web エントリー登録完了の通知メールが届きます。

入力する氏名は、住民票、パスポートまたは在留カードに基づいて入力してください。ただし、氏名や住所等を入力する際は、JIS 第 1 水準および第 2 水準の文字で入力してください。なお、JIS 第 1 水準および第 2 水準以外の文字は入力できませんので、その場合は、代替の文字（カタカナを含む）を入力してください。

また、外国人留学生の氏名については、原則全てカタカナ表記となりますが、漢字表記を希望する場合のみ漢字表記とすることも可能です。その場合も漢字は JIS 第 1 水準および第 2 水準までとします。なお、入学後に交付する学生証等の氏名表記は、本画面で入力された文字となります。

例) 高 → 高、吉 → 吉、崎 → 崎、濱 → 濱、橋 → 橋、瀬 → 瀬、
静 → 静、柳 → 柳、徳 → 徳、鼻 → 鼻、角 → 角、葉 → 桑、
Ⅲ (ローマ字) → III (アルファベットのアイを3つ入力) など

【日本国外居住者の方へ】

日本国外に居住する方で、合格後に日本へ留学するために査証（ビザ）取得に必要となる「在留資格認定証明書」交付の代行申請を希望する場合は、在留資格認定証明書の代行申請欄において、「希望する」を選択してください。

詳細については、41 ページの「7 在留資格「留学」の取得について」を確認してください。

7 出願内容の確認

入力した出願内容（志望情報①②と個人情報）を確認し、出願内容について間違いがなければ、同意欄の口に「✓」を入れて、「次へ」をクリックしてください。

志望情報	
試験日程	2月募集
大学院	法学研究院
課程	博士課程前期課程
入試種別	一般入学試験

志望情報、個人情報を正しく登録したことを確認し、出願することに同意します。

次へ

8 入学検定料の納入方法を選択

入学検定料の納入方法として、「クレジットカードで納入する」、「コンビニ、金融機関 ATM【Pay-easy】、ネットバンキングのいずれかで納入する」、「銀行振込で納入する」の中から選択し、「出願登録を完了する」をクリックしてください。

納入方法の選択

納入方法は、「クレジットカードで納入する」【コンビニ、金融機関ATM【Pay-easy】、ネットバンキングのいずれかで納入する】【銀行振込で納入する】の中から一つを選択できます。

※納入方法ごとに、納入手続き、手数料、納入上限額が異なります。

クレジットカードで納入する

コンビニ、金融機関ATM【Pay-easy】、ネットバンキングのいずれかで納入する

銀行振込で納入する

●詳しい納入方法については、「10 入学検定料の

納入」または Web エントリーサイトの「入学検定料・選考料の納入方法について」を確認してください。

●コンビニエンスストアや金融機関 ATM【Pay-easy】で入学検定料を納入する際には、「9 出願登録の完了」時に取得した[各種番号]が必要です（各種番号は支払先によって異なります）。

次にポップアップする確定処理の画面で、「確定する」をクリックしてください。

※Web エントリー登録完了の通知メールが届きます。

9 出願登録の完了

出願登録が完了しました。

「志願票・宛名シートを印刷する」をクリックし、志願票等一式を印刷してください。

また、志望理由書等の必要書類（本学所定用紙）は、学生募集要項に同封の書類を使用するか、「出願書類のダウンロード」をクリックし、印刷してください。

なお、出願書類は各入試種別ページに記載の「2 出願書類」で必ず確認してください。

次に、整理番号や納入情報などを印刷するか、印刷できない場合は必ず必要事項をメモしておいてください。

付与された整理番号は「12 受験票のダウンロード」の際に必要となりますので、必ず控えておいてください。

Web エントリー完了後、入学検定料を納入するまでに間違いが判明した場合は、最初から Web エントリーを行ってください。なお、登録を再度行った場合は、前回取得した志願票・宛名シートおよび各種手続番号（整理番号、払込票番号等）は破棄してください。前回取得した志願票・宛名シートおよび各種手続番号を用いて入学検定料の納入や出願書類の提出をした場合は、出願が完了したことにはなりませんのでご注意ください。

また、入学検定料納入後や出願書類提出後に登録内容の間違いが判明した場合は、大学院入試グループまで連絡してください。

入学検定料 **35,000** 円を所定期間内に納入してください。

※所定期間内に入学検定料の納入がない場合は、登録された出願情報は無効となります。

「個別の入学資格審査」の対象者は、出願資格が認められた後に納入してください。

なお、一旦納入された入学検定料は、返還いたしません。

ただし、次の①～④のいずれかに該当する場合は、入学検定料を返還する場合があります。該当する方は、各日程の出願締切日から 7 日以内に大学院入試グループまでご連絡ください（④の取り扱いは異なりますので、38 ページをご参照ください）。

- ①入学検定料を所定額より多く支払った場合（二重払いを含む）
- ②入学検定料を支払ったが、所定の期日までに出願書類を提出しなかった場合
- ③入学検定料を支払い、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、本学が出願を認めなかった場合
- ④日本の学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ等）に罹患し、治癒していない場合（診断書の提出が必要）

※日本国外の金融機関口座へ入学検定料を返還する場合、返還に伴い発生する手数料等は志願者の負担となります。

詳しい納入方法については、Webエントリー画面の「入学検定料・選考料の納入方法について」を参照してください。

下記①～⑤のいずれかの方法で納入してください。

① 金融機関窓口または本学出納窓口

現金支払

お支払いの際は、Webエントリー完了時に印刷した志願票（本人控）、振込依頼票（取扱店保存）、領収書（本人控）を使用してください。
※印刷した振込依頼票は、金融機関および本学出納窓口専用です。（コンビニエンスストアでは使用できません。）

② コンビニエンスストア

現金支払

<p>セブンイレブン</p>  <p>【払込票番号(13ケタ)】</p> <p>レジにて「インターネット支払い」と店員に伝える</p> <p>印刷した【払込票】を渡すか、【払込票番号】を伝える</p> <p>入学検定料・選考料を現金で支払う</p> <p>※マルチコピー機は使用しません。</p>	<p>ローソン・ミニストップ (Loppi)</p>  <p>【お客様番号(11ケタ)と確認番号(5ケタ)】</p> <p>「各種サービスメニュー」を選択</p> <p>「各種代金・インターネット受付・スマートビットのお支払い」を選択</p> <p>「各種代金お支払い」を選択</p> <p>「マルチペイメントサービス」を選択</p> <p>「お客様番号」「確認番号」を入力</p> <p>端末から出力された申込券を持って、レジにて現金で支払う</p>	<p>ファミリーマート</p>  <p>【お客様番号(11ケタ)と確認番号(5ケタ)】</p> <p>マルチコピー機を使用します</p> <p>「代金支払い」を選択</p> <p>「番号入力」を選択</p> <p>「お客様番号」「確認番号」を入力</p> <p>「同意して進む」を選択</p> <p>端末から出力された申込券を持って、レジにて現金で支払う</p>	<p>セイコーマート</p>  <p>【オンライン決済番号(11ケタ)】</p> <p>レジにて「インターネット支払い」と店員に伝える</p> <p>「オンライン決済番号」を入力</p> <p>入学検定料・選考料を現金で支払う</p>	<p>デイリーヤマザキ</p>  <p>【オンライン決済番号(11ケタ)】</p> <p>レジにて「オンライン決済」と店員に伝える</p> <p>レジ画面で「オンライン決済番号」を入力</p> <p>入学検定料・選考料を現金で支払う</p>
---	---	--	---	---

③ 金融機関ATM【Pay-easy】

現金支払

キャッシュカード

ゆうちょ銀行、Pay-easy対応ATMでお支払いが可能です。



「税金・料金払い込み」または「Pay-easy」を選択

収納機関番号に【58021】と入力

「お客様番号」「確認番号」を入力

支払方法（現金またはキャッシュカード）を選択して、入学検定料・選考料を支払う

④ ネットバンキング

口座引落

都市銀行、地方銀行、ネット専門銀行などのネットバンキングの利用が可能です。

出願登録完了画面から「ネットバンキングでの納入に進む」を選択

金融機関を選択し、ログインする

内容を確認し、入学検定料・選考料を支払う

⑤ クレジットカード

以下のロゴマークがあるクレジットカードが利用できます。



※使用するカードの名義人は、志願者本人でなくても構いません。ただし、「個人情報入力」画面では、必ず志願者本人の情報を入力してください。

出願登録完了画面から「クレジットカードでの納入に進む」を選択

画面の案内に従い、クレジットカードの情報を入力



- 支払手続は、各日程の入学検定料・選考料納入期間に関わらず、Webエントリー完了時にメールで通知された【納入期限】までに完了してください。
- 入学検定料・選考料の他に、手数料が別途かかります。詳細はサイト上でご確認ください。
- 取扱可能なコンビニエンスストア、ネットバンキング等は変更される場合があります。変更された場合は、サイトにてご案内いたしますので、ご確認ください。
- コンビニエンスストアのATMは利用できません。
- クレジットカードで決済できなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。

【注意事項】

金融機関の窓口で納入の場合

- 1 Webエントリーの「納入方法」を選択する際、「**銀行振込で納入する**」を選択のうえ、「電信振込」を取扱う最寄りの銀行・信用金庫・信用組合・農協等金融機関の窓口で各日程の入学検定料納入期間の**締切日の13時まで**に納入してください。
※ ATM（現金自動預払機）による振込みはしないでください。また、郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込みはできません。
- 2 納入の際は、Webエントリー完了時に印刷した志願票（本人控）、振込依頼票（取扱店保存）、領収書（本人控）を使用してください。
- 3 振込依頼票（取扱店保存）、領収書（本人控）は切り離さず、振込みの際に窓口へ呈示して、必ず振込依頼票（取扱店保存）の太枠部分を打電してもらってください。
- 4 納入後、領収書（本人控）に金融機関の収納印が押してあることを必ず確認のうえ、各自大切に保管してください（出願書類提出時に同封する必要はありません）。

本学の出納窓口で納入の場合

- 1 Webエントリーの「納入方法」を選択する際、「**銀行振込で納入する**」を選択のうえ、各日程の入学検定料納入期間内に納入してください。
- 2 納入の際は、Webエントリー完了時に印刷した志願票（本人控）、振込依頼票（取扱店保存）、領収書（本人控）を使用してください。
- 3 納入後、領収書（本人控）に出納収納印が押してあることを必ず確認のうえ、各自大切に保管してください（出願書類提出時に同封する必要はありません）。
- 4 出納窓口の取扱い時間は次のとおりです。

なお、土曜日、日曜日、祝日および本学が指定する休業日を除きます。

出納課分室（千里山キャンパス 新関西大学会館南棟1階）

9時～15時

高槻キャンパスオフィス

9時～16時

ミュージアムオフィス

9時～16時

堺キャンパス事務室

9時～16時

コンビニエンスストア、金融機関ATM【Pay-easy】で納入の場合

- 1 Webエントリーの「納入方法」を選択する際、「**コンビニエンスストア、金融機関ATM【Pay-easy】、ネットバンキングのいずれかで納入する**」を選択のうえ、各日程の入学検定料納入期間に関わらず、**Webエントリー完了後に表示される最終画面またはメールに通知された期間内**に必ず納入してください。
- 2 納入の際は、Webエントリー完了時に印刷した志願票（本人控）、振込依頼票（取扱店保存）、領収書（本人控）は使用しません。
なお、コンビニエンスストアで納入する場合、入学検定料納入後に受け取る「入学検定料・選考料取扱明細書」等を、各自大切に保管してください（出願書類提出時に同封する必要はありません）。

日本国外から出願の方へ

Web エントリーの際に、納入方法で「クレジットカード」を選択することができます。クレジットカードをお持ちの場合は、可能な限りクレジットカードにて納入してください。なお、支払いに使用するクレジットカードは志願者本人以外の名義でも構いません。

クレジットカードによる納入ができない場合は、下記の案内にしたがい、金融機関より送金してください。その際は、入学検定料以外に、日本の銀行でかかる手数料 2,500 円を加算した金額を納入してください。

送金種別	電信送金 (Telegraphic Transfer)
送金方法	銀行振込 (Advise and Credit)
送金手数料	送金手数料は送金人負担、受取銀行手数料は受取人負担 ※手数料欄は、必ず「SHA」を選択してください。 Local charges borne by remitter & overseas charges by beneficiary. Please be sure to choose 'SHA' on the application form.
通貨	日本円 (JPY)
送金額	37,500 円 (入学検定料 35,000 円 + 日本の銀行でかかる手数料 2,500 円) ※1 現地金融機関において別途手数料が必要となる場合、この金額とは別に窓口で手続き時にお支払いください。 ※2 日本の銀行でかかる手数料が 2,500 円を超えない場合でも差額は返金しません。
送金先口座	
銀行名	三井住友銀行 (SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION)
支店名	天六支店 (Tenroku Branch)
銀行住所	〒530-0041 大阪府大阪市北区天神橋 6-4-20 (6-4-20, Tenjimbashi Kita-ku Osaka-shi, OSAKA 530-0041 JAPAN)
SWIFT ADDRESS	SMBCJPJT
預金種類	普通預金 (Ordinary Account)
口座番号	6811906 (Account Number)
受取人名	関西大学 (Kansai University)
受取住所	〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 (3-3-35, Yamate-cho Suita-shi, OSAKA 564-8680 JAPAN)

【送金時の注意事項】

- ・着金までに時間を要するため、Web エントリー完了後、速やかに送金手続きを行ってください。
- ・送金者の名義は志願者本人としてください。
- ・海外送金をされた後は、海外送金依頼書のコピーを添付したメールを大学院入試グループ (grd-adm@ml.kandai.jp) へ送信したうえで、出願書類に同封してください。

11 出願書類の提出

出願書類を市販の封筒 (角 2 サイズ) に入れ、「宛名シート」を貼付したうえで、所定の期間内に提出してください。

※「宛名シート」は、「9 出願登録の完了」画面上の「志願票・宛名シートを印刷する」をクリックして、各自、印刷してください。

[持参の場合]

出願期間中の 10 時～16 時の間にミュージズオフィスへ提出してください。なお、日曜日、祝日および本学が指定する休業日を除きます。

※持参する場合も、「宛名シート」を封筒 (角 2 サイズ) に貼付して提出してください。

[郵送の場合]

出願期間内に簡易書留速達にて郵送してください（締切日当日の消印有効）。

※出願書類が角 2 サイズの封筒に入りきらない場合は、荷物の追跡が可能な「ゆうパック」や宅配便を利用してください。なお、「ゆうパック」や宅配便を利用する場合は、出願書類とあわせて「宛名シート」も同封してください。

日本国外から出願する方へ

国際宅配便（DHL）で郵送してください（**締切日必着**）。

郵送後は、追跡番号をミュージズオフィスまでメールにて送付してください。

また、「宛名シート」も必要になりますので、出願書類に同封してください。

送付先 〒569-1098 大阪府高槻市白梅町 7-1

関西大学 高槻ミュージズキャンパス ミューズオフィス

Kansai University Muse Office

7-1, Hakubai-cho, Takatsuki-shi, OSAKA 569-1098 JAPAN

Tel: +81-72-684-4000

E-mail: safety_science@ml.kandai.jp

12 受験票のダウンロード

受験票は発送しませんので、各自で各日程の受験票ダウンロード開始日 10 時から試験当日までに、下記の URL からダウンロードのうえ、A4 サイズで印刷し、試験当日に持参してください。

●受験票ダウンロードサイト

<https://www.kansai-univ-jp.com/jyukenhyo/>

注 1 パソコンからの利用を推奨します。

注 2 ダウンロードには Web エントリー完了時に付与された整理番号および生年月日が必要となります。整理番号は、Web エントリー完了後、Web エントリーの際に登録したメールアドレスに届くメールに記載されています。

13 入学試験日

(1) 試験当日

試験開始 20 分前までに指定された試験場へ入場してください。

最初の試験の試験開始 30 分経過後の遅刻者には、受験を許可しません。

なお、人身事故等による公共交通機関の遅れ（ただし、バス・タクシーを除く）など、本人の責めに帰さない事由による遅刻の可能性がある場合には、試験開始時刻を繰り下げる等の措置を講じることがありますので、集合時刻までに必ず入試実施本部へ連絡し、指示を受けてください。

(2) 試験場

関西大学 高槻ミュージズキャンパス

入試実施本部：072-684-4000

◆「受験者」に対する短期滞在査証取得のためのサポートについて

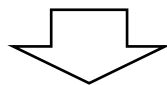
受験のために渡日する場合には、まずはご自身で渡航の手続きを行ってください。

ご自身で短期滞在査証の申請が不可能な方に対し、受験者の申し出により本学では「短期商用等」査証の発行等のサポートを行っています。

日本国外に居住する受験者は、下図を確認のうえ、手続きを行ってください。

なお、「入学予定者」に対する「在留資格認定証明書」交付の代行申請については、41ページの「7 在留資格「留学」の取得について」を確認してください。

ご自身で短期滞在査証の申請が不可能な場合

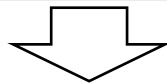


関西大学へ連絡

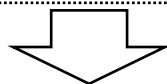
Web エントリー開始日までに連絡してください。

詳細は、短期滞在査証取得のサポートを申し出た際に説明します。

なお、「短期商用等」査証は在外日本国公館（日本大使館または総領事館など）で審査されるものであり、関西大学がその取得を保証するものではありません。



本学が招へい人となり「短期商用等」査証の取得に必要な書類を発行します。



ご自身で渡航手続きを完了してください。

【注意】「短期商用等」査証取得に必要な書類の発行には時間を要しますので、Webエントリー開始前の早い段階で大学院入試グループに連絡してください。

<連絡先>

関西大学 入試センター大学院入試グループ

Tel : +81-6-6368-1407

E-mail : grd-adm@ml.kandai.jp

V 募集内容

社会安全研究科（博士課程前期課程）

募集研究科・専攻および入学定員

研究科	専攻	入学定員
社会安全研究科	防災・減災専攻	15名

注 入試種別ごとの募集人員は設定していません。

M 一般入学試験（10月募集・2月募集）

1 出願資格

次の(1)～(10)のいずれかの条件を満たす者

(本研究科入学までに、(1)～(8)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む)

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構（旧大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（注1）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（注2）により学士の学位に相当する学位を授与された者（平成28年文部科学省令第19号）
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 大学院に飛び入学した者であって、本大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- (10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、本研究科入学までに22歳に達する者

注1 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限り、

注2 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって上記(5)の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含みます。

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(9)または(10)に該当する志願者

2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

(注1) 修了した課程が16年未満で学士の学位を有する者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期にミュージズオフィスにお問い合わせください。

(注2) 外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期にミュージズオフィスにお問い合わせください。

2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、巻末の「**出願書類に関する注意事項**」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「**出願書類一覧 (チェックリスト)**」も出願書類と併せて提出すること。

出願書類【書類番号】	備考
志願票 (提出用) 【①】	Web エントリー完了後に印刷したものを提出してください。
志望理由書【②】	本学所定の用紙
出身大学等の成績証明書【③】	<p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書 (原本) を提出してください。</p> <p>○出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書 (原本) も併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学等の成績証明書 (原本) を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に DD (デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー) プログラム等に参加したが、在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD 派遣先の大学等の成績証明書 (原本) を、併せて提出してください。</p> <p>注 1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注 2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書 (書式自由) を作成し、併せて提出してください。(学校印等は不要)</p>
出身大学等の卒業 (見込) 証明書【④】	<p>出願書類③に、卒業 (見込) であることが記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>卒業 (見込) 証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>注 出願資格(2)による志願者は卒業証明書に代えて次の①または②の書類を、出願資格(6)による志願者は卒業証明書に加えて次の①の書類を提出してください。</p> <p>①学位を授与された者 学位授与証明書</p> <p>②学位取得見込みの者はアおよびイ ア 志願者が在籍する短期大学の専攻科または高等専門学校の専攻科の修了見込証明書 イ 志願者が在籍する短期大学または高等専門学校による志願者が学士の学位授与を申請する予定である旨が記載された証明書 (申請を受理された者は、大学改革支援・学位授与機構の学位授与申請受理証明書)</p>
研究計画書【⑤】	<p>概要 1,000 字程度 原本 1 部とその写し 3 部</p> <p>パソコン等で A4 用紙 (横書き 40 字×40 行) を使用して作成してください。</p>
在留カードまたはパスポートの写し【⑩】 ★日本国以外の国籍を有する者のみ (特別永住者を除く。)	<p>在留カードの場合は両面をコピーしてください。</p> <p>パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。</p>
写真 2 枚	<p>最近 3 カ月以内に撮影されたものを志願票 (提出用) と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。 (志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。)</p>

注 出願書類に不明な点がある場合は、必ず Web エントリー開始前のなるべく早い時期にミュージズオフィスにお問い合わせください。

3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 試験科目および試験時間

筆記試験	口頭試問
専門科目	筆記試験終了後
10:00 ~ 11:30 (90分)	

注 口頭試問の開始時刻および試験場等の詳細は、試験当日に指示します。

5 試験内容および配点

筆記試験（専門科目）（100点）	口頭試問（100点）
① 防災・減災に関する社会科学的な基礎問題または自然科学的な基礎問題（1問選択、記述式） なお、『社会安全学入門』（関西大学社会安全学部編、ミネルヴァ書房）の内容から出題されます。 ② 志望演習テーマに関する基礎的知識	次のような点について試問を行います。 ① 専門に関わる基礎的な知識 ② 入学後の研究テーマと研究方法 ③ これまでの研究内容等

M 外国人留学生入学試験（10月募集・2月募集）

1 出願資格

「日本語能力試験（JLPT）」N1（旧試験では1級）に合格している者、または、「日本留学試験（EJU）」で日本語（記述含む）270点以上得点している者（ただし、当該出願資格に定めるレベル・スコアに準ずる日本語能力を有する者は、個別の入学資格審査により、出願資格を認める場合がある。）で、次の(1)～(5)のいずれかの条件を満たす者

ただし、「日本留学試験（EJU）」については、各日程の出願開始日が、当該発行機関が定める有効期間内に含まれているものに限る

（本研究科入学までに、(1)～(4)のいずれかの条件を満たす見込み者を含む）

- (1) 外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した者（注1）
- (2) 日本において外国人留学生として大学を卒業した者
- (3) 外国の大学その他の外国の学校（注2）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより学士の学位に相当する学位を授与された者（平成28年文部科学省令第19号）
- (4) 日本において外国人留学生として専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (5) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。ただし、日本において通常の課程による学校教育を受けたと認定した外国人を除く。

注1 以下の学校に在籍した者は、その期間が通算4年以内である場合に限り、出願資格(1)と同様とみなす。

- ・日本の学校教育法に基づく小学校・中学校・高等学校等
- ・日本にある外国人学校
- ・文部科学大臣が認定又は指定した在外教育施設

注2 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限り、

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

- ・出願資格に定めるレベル・スコアに準ずる日本語能力を有する者
- ・出願資格(5)に該当する志願者

2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

(注1) 修了した課程が16年未満で学士の学位を有する者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期にミュージズオフィスにお問い合わせください。

(注2) 外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期にミュージズオフィスにお問い合わせください。

2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、巻末の「**出願書類に関する注意事項**」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「**出願書類一覧 (チェックリスト)**」も出願書類と併せて提出すること。

出願書類【書類番号】	備考
志願票 (提出用) 【①】	Web エントリー完了後に印刷したものを提出してください。
日本語による志望理由書【②】	本学所定の用紙
出身大学等の成績証明書【③】	<p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書 (原本) を提出してください。</p> <p>○出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書 (原本) も併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学等の成績証明書 (原本) を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に DD (デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー) プログラム等に参加したが、在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD 派遣先の大学等の成績証明書 (原本) を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書 (書式自由) を作成し、併せて提出してください。(学校印等は不要)</p>
出身大学等の卒業 (見込) 証明書【④】	<p>卒業 (見込) であること、入学年月および卒業 (見込) 年月が記載されていること。</p> <p>ただし、出願書類③に上記内容が記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>卒業 (見込) 証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>注 出願資格(3)による志願者は、卒業証明書に加えて学位授与証明書を提出してください。</p>
日本語による研究計画書【⑤】	<p>概要 1,000 字程度 原本 1 部とその写し 3 部</p> <p>パソコン等で A4 用紙 (横書き 40 字×40 行) を使用して作成してください。</p>
日本語能力に関する証明書【⑩】	<p>「日本語能力試験 (JLPT)」の場合 N1 (旧試験 1 級) 合格を証明する『合否結果通知書』または『認定結果及び成績に関する証明書』 ★必ず原本を提出してください。</p> <p>「日本留学試験 (EJU)」の場合 「日本語 (記述含む)」を 270 点以上得点したことがわかるオンライン上での『成績確認書』を A4 用紙にプリントアウトしたもの</p>
在留カードまたはパスポートの写し【⑪】	<p>在留カードの場合は両面をコピーしてください。</p> <p>パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。</p>
写真 2 枚	<p>最近 3 カ月以内に撮影されたものを志願票 (提出用) と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。(志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。)</p>

注 出願書類に不明な点がある場合は、必ず Web エントリー開始前のなるべく早い時期にミュージズオフィスにお問い合わせください。

3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 試験科目および試験時間

筆記試験	口頭試問
専門科目	筆記試験終了後
10:00 ~ 11:30 (90分)	

注 口頭試問の開始時刻および試験場等の詳細は、試験当日に指示します。

5 試験内容および配点

筆記試験 (専門科目) (100点)	口頭試問 (100点)
① 防災・減災に関する社会科学的な基礎問題または自然科学的な基礎問題 (1問選択、記述式) なお、『社会安全学入門』(関西大学社会安全学部編、ミネルヴァ書房)の内容から出題されます。 ② 志望演習テーマに関する基礎的知識	次のような点について試問を行います。 ① 専門に関わる基礎的な知識 ② 入学後の研究テーマと研究方法 ③ これまでの研究内容等

M 社会人入学試験（10月募集・2月募集）

1 出願資格

次の(1)および(2)の条件を満たす者

(1) 次のア～コのいずれかに該当する者

(本研究科入学までに、ア～クのいずれかの条件を満たす見込みの者を含む)

ア 大学を卒業した者

イ 大学改革支援・学位授与機構（旧大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された者

ウ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者

エ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者

オ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

カ 外国の大学その他の外国の学校（注1）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（注2）により学士の学位に相当する学位を授与された者（平成28年文部科学省令第19号）

キ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

ク 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）

ケ 大学院に飛び入学した者であって、本大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者

コ 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、本研究科入学までに22歳に達する者

注1 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限り、

注2 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって上記オの指定を受けたものにおいて課程を修了することを含みます。

(2) 次のア～ウのいずれかに該当する者

ア (1)-ア～クのいずれかの要件を満たした後、入学時において3年以上経過する者

イ 出願時において、企業、官公庁、教育・研究機関等において1年以上勤務している者または経験を有する者

ウ 本大学院において、個別の入学資格審査により、イに準ずる職歴を有すると認められた者

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(1)-ケ、(1)-コまたは(2)-ウに該当する志願者

2. 手続方法・申請期日

1 ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

(注1) 修了した課程が16年未満で学士の学位を有する者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期にミュージズオフィスにお問い合わせください。

(注2) 外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期にミュージズオフィスにお問い合わせください。

2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、巻末の「**出願書類に関する注意事項**」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧 (チェックリスト)」も出願書類と併せて提出すること。

出願書類【書類番号】	備考
志願票 (提出用) 【①】	Web エントリー完了後に印刷したものを提出してください。
志望理由書【②】	本学所定の用紙
出身大学等の成績証明書【③】	<p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書 (原本) を提出してください。</p> <p>○出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書 (原本) も併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学等の成績証明書 (原本) を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に DD (デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー) プログラム等に参加したが、在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD 派遣先の大学等の成績証明書 (原本) を、併せて提出してください。</p> <p>注 1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注 2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書 (書式自由) を作成し、併せて提出してください。(学校印等は不要)</p>
出身大学等の卒業証明書【④】	<p>出願書類③に、卒業 (見込) であることが記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>卒業 (見込) 証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>注 <u>出願資格(1)-イ</u>による志願者は、卒業証明書に代えて学位授与証明書を提出してください。</p> <p>また<u>出願資格(1)-カ</u>による志願者は、卒業証明書に加えて学位授与証明書を提出してください。</p>
研究計画書【⑤】	概要 1,000 字程度 原本 1 部とその写し 3 部 パソコン等で、A4 用紙 (横書き 40 字×40 行) を使用して作成してください。
業績報告書【⑥】	在職中の研究業績内容または業務内容の概要 1,000 字程度 原本 1 部とその写し 3 部 パソコン等で、A4 用紙 (横書き 40 字×40 行) を使用して作成してください。
研究業績【⑨】 ★該当者のみ	学术论文、学会発表、研究報告書の抜刷またはその写し提出できる場合は、各 4 部提出してください。
在留カードまたはパスポートの写し【⑩】 ★日本国以外の国籍を有する者のみ (特別永住者を除く。)	在留カードの場合は両面をコピーしてください。 パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。
写真 2 枚	最近 3 カ月以内に撮影されたものを志願票 (提出用) と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。 (志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。)

注 出願書類に不明な点がある場合は、必ず Web エントリー開始前のなるべく早い時期にミュージズオフィスにお問い合せください。

3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 試験科目および試験時間

筆記試験	口頭試問
専門科目	筆記試験終了後
10:00 ~ 10:45 (45分)	

注 口頭試問の開始時刻および試験場等の詳細は、試験当日に指示します。

5 試験内容および配点

筆記試験 (専門科目) (50点)	口頭試問 (150点)
防災・減災に関する社会科学的な基礎問題または自然科学的な基礎問題 (1問選択、記述式) なお、『社会安全学入門』(関西大学社会安全学部編、ミネルヴァ書房)の内容から出題されます。	次のような点について試問を行います。 ① 専門に関わる基礎的な知識 ② 入学後の研究テーマと研究方法 ③ 社会人業務や経験と研究との関連性 ④ これまでの研究内容等

注 出願に際しては、志望する演習テーマを選択してください。

ただし、演習担当教員は、出願時の希望を考慮の上、最終的には研究科で決定します。

现阶段で、※印の指導教員については、在学期間中に不在となる期間がありますので、必ず事前にミューズオフィスへ連絡してください。

なお、演習テーマおよび指導教員については変更することがあります。

変更が生じた場合は、本大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。

<https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/>

(2023年4月現在)

2024年度 社会安全研究科 演習テーマおよび指導教員一覧 (博士課程前期課程)

防災・減災専攻

演習テーマ		指導教員			演習内容	担任者コード
人間システム系	災害情報論	教授	近藤 誠司	博士(情報学) 京都大学	災害情報とメディアのありかたを考究するために、本ゼミナールでは情報学の最新理論と人間科学の視座をふまえて、原則としてアクション・リサーチを実施する。緊急時の災害情報の受発信手法をいかに確立するか、復興期の被災地支援に関わる情報共有手法をどのように充実させるか、そして平素、防災活動を推進するためのコミュニケーションをいかにして創発していくか。グローバルなメディアからローカルなメディアまで対象を幅広く設定し、情報をめぐる多様な課題を克服する手立てを実践的な研究を通して探索する。	74014
人間システム系	リスク心理学	教授	土田 昭司		人間の営み(生活や生産活動など)では、基本的に望ましい面(利益)を求めると同時に、事故や災害などをはじめとする望ましくない面(危険)も不可避免的に伴う。リスクとは、将来において発生する危険と利益のことをいう。社会の安全を保ち、かつ、人々の幸せを求めると同時に、リスクについての情報を交換してより良い社会をめざすことをリスクコミュニケーションという。具体的には例えば、原子力発電に関する合意形成、医療現場などで治療法を不安視する人へのケア、危機的状況における情報伝達などがある。本演習では、リスクコミュニケーションにおける諸問題を主に社会心理学の立場から検討する。研究手法は、心理実験、社会調査、事例研究などにより収集したデータを統計分析する実証研究である。	97501
人間システム系	ヒューマンエラー論	教授	中村 隆宏	博士(人間科学) 大阪大学	安全確保を図るため様々な対策の立案やシステム作り、制度整備などが行われる一方で、事故や災害の原因と人の行為・行動との密接な関係がしばしば指摘される。本演習では、過去の事例や先行研究を参照しつつ、ヒューマンエラーと事故・災害の発生原因との関係について、および事故・災害の防止を図るための実践的かつ現実的な対応策の在り方について検討する。	70559
人間システム系	労働安全衛生論	教授	廣川 空美	博士(心理学) 関西学院大学 博士(医学) 岡山大学	働く人々の健康問題として、特に過重労働やメンタルヘルスにかかわる要因の究明や予防対策について、調査や実験研究を行う。個人を対象にした研究に限らず、組織や地域社会を対象として、労働者の安全、健康に必要とされる取り組みを探索することを目指す。日常生活において常に問題意識を持ち、人や社会に興味を持っている方を募集する。	78069
人間システム系	災害心理学	教授	元吉 忠寛	博士(教育心理学) 名古屋大学	社会に存在するさまざまなリスク要因を最適化し、持続可能で安全・安心な社会を築くためには、どのような情報や社会システムが必要なのかについて、心理学的なアプローチによって研究する。災害などのリスクに関する態度研究、地域の防災力向上、避難情報と行動、被災者の支援、学校における子どもの安全などのテーマの中からいくつかのトピックを選び、集団討議を通して検討していく。	70550

演習テーマ		指導教員			演習内容	担任者コード
人間システム系	事故調査制度論	准教授	岡本 満喜子	博士(人間科学) 早稲田大学	事故防止に必要な取組を、人がミスをする原因の分析と、原因究明を実効的に行い再発防止につなげる社会制度という2つの側面から検討する。ヒューマンエラーの発生メカニズム、事故調査制度と法的責任追及の関係、これらの社会的な制度設計をテーマとする。受講者は、これらの分野から興味のあるテーマを選び、自ら情報収集を行うとともに、演習の討論等を通じ理解を深めることが求められる。	76003
人間システム系	防災教育論	准教授	城下 英行	博士(情報学) 京都大学	防災とは何か、安全とは何かという根源的な問いに常に向き合いながら、防災や安全のための教育の問題を取り上げる。防災・安全教育＝知識・技術の伝達という個体能力主義に基づく防災・安全教育が抱える問題を整理し、そうした問題を解決するための防災・安全教育の方法について理論的な研究を行う。その上で、受講者には、当該理論に基づいた防災・安全教育の実践を実際のフィールドで行うことが求められる。	70561
人間システム系	支援と復興の社会学	准教授	菅 磨志保	博士(学術) 神戸大学	災害は、個人や集団にとって、突如、日常生活の循環を破壊する契機として現れる。本演習では災害社会学の知見に基づいて、個人や集団が、地域内外の資源を動員しながら日常を回復していく過程に焦点を当て、被害を拡大させる社会の脆弱性、地域の回復力、また回復に向けた支援のあり方について研究を進めていく。受講者は、自分のテーマに即した事例・フィールドを選んで調査・研究を進め、その経過を演習で発表、討議を通じてテーマを掘り下げていく。	70556
人間システム系	安全の社会科学	准教授	※ 菅原 慎悦	博士(工学) 東京大学	現代の複雑化した社会－技術システムの安全確保やリスク管理には、自然科学や工学の知見に加え、社会科学や人文科学の知見や視点が欠かせない。本演習では、主に原子力技術を例にとり、リスク学、科学技術社会論(STS)、科学技術社会学など、科学技術と社会との界面で生じる安全やリスク問題を分析するための学問的な視点を身につけ、受講者が自ら考察を深化させることを目指す。	76813
社会システム系	リスクマネジメント論	教授	亀井 克之	博士(商学) 大阪市立大学	現代の巨大化・複雑化・社会化したリスクに対して、企業・国家・行政・家庭・地域が連携して対応するソーシャル・リスクマネジメントの考え方に立脚して、地域社会と企業におけるリスクマネジメント(RM)の現代的課題を研究する。①リスクコントロールとリスクファイナンスの現代的展開、②RMの組織体制作り、③企業による「リスク情報の開示」、④経営戦略とRM、危機管理とリーダーシップ、⑤マーケティング戦略・ブランド戦略とRM、⑥RMの規格・実践の国際比較、⑦中小企業のRM(事業承継問題、経営者のメンタルヘルス)、⑧学校の危機管理・子どもの安全など。	94732
社会システム系	公衆衛生政策論	教授	高島毛 敏雄	博士(医学) 大阪大学	現代社会においては感染症の流行、食中毒・食品事故、環境汚染、薬物汚染、自然災害、暴力・虐待など、人々の生命の安全に関わる様々な問題が存在している。本演習では、食品安全や感染症に関わる健康危機事例を中心に進めるが、それ以外の課題でも構わない。疫学研究の手法の修得し、これまでの事例検討や先行研究をレビューすることからはじめてもらう。その上で、健康政策、実地調査および欧米諸国の制度を踏まえて健康危機管理に関わるマネジメントのあり方について議論をしながら検討し、まとめていく。	70552

演習テーマ		指導教員			演習内容	担任者コード
社会システム系	企業法学	教授	高野 一彦	博士(法学) 中央大学	近年、企業を取り巻く法制度や社会環境が大きく変化しているが、企業はこのような変化に対応できておらず、これは頻発する企業不祥事の一因となっている。現代企業の経営者にとって、企業法学の知識とコンプライアンス意識は必要不可欠な資質であるといえよう。「企業法学」では、コーポレート・ガバナンスや内部統制に関する法制度、個人情報・プライバシーや営業秘密に関する情報法などの各分野に加え、経営判断のために必要な企業倫理・CSRについて、実際に起こった事件・訴訟などを素材として実践的な教授を行う。	70557
社会システム系	防災行政学・危機に対する公共政策学	教授	※ 永田 尚三	博士(人間・環境学) 京都大学	災害対応は、よく自助、共助、公助といわれる。個人レベルや地域コミュニティーレベルで対応できない部分は、公的部門が行う他なく、行政・政治に期待される役割は大きい。災害対応における行政の機能を最大化させるためには、どのような制度、どのような行政管理を行うべきなのか。また問題改善のためにはどのような政策を行うべきなのか。そして危機に政治はどのように対応すべきなのか。行政学、公共政策学、政治学の視点から研究指導を行う。フィールドワーク、ディベート等も随時行う。	70549
社会システム系	防災・減災政策の経済分析と政策評価	教授	永松 伸吾	博士(国際公共政策) 大阪大学	防災や減災に関わる公共政策について分析し、エビデンスに基づく政策評価ならびに提言を行う。地域防災、レジリエンス・脆弱性評価、災害復興・雇用創出、行政の災害対応、巨大災害保険、防災対策の費用便益分析などに関心のある受講生を歓迎する。	70558
社会システム系	政策法学	教授	山崎 栄一	博士(情報学) 京都大学	安全・安心の確保は国や自治体に第一義的に課せられた役割であり、安全・安心の確保のためにさまざまな規制や給付・サービスを行っている。そういった活動の根拠になっているのが法制度であり、行政法を中心に研究を進めていくことになる。単に、法制度がどうあるかという解釈・実態把握だけでなく、解釈・実態把握をもとに法の設計・運用上の問題を発見し、その解決策を冷静に検討していくという態度が求められる。山崎の専門領域である自然災害のみならず人為的な災害を含め、問題領域を幅広く取り扱ってきたい。	74019
社会システム系	交通システム安全論	教授	吉田 裕	博士(学術) 関西大学	輸送の安全確保は、国民が安心して暮らせる社会を実現する上で必要不可欠な課題である。例えば、鉄道分野では従来からの事故防止や自然災害対策に加え、近年では犯罪やテロ対策が重要な課題となっている。本演習では、各交通モードにおける安全上の課題を抽出し、ヒューマンファクターの視点で詳しく分析を行い、安全性の向上に有効と考えられる対策の提言を目指す。	75502
社会システム系	保険論	准教授	桑名 謹三	博士(環境学) 上智大学	保険は、防災・減災を促進し社会的厚生を向上させるという制度的機能を有している。また、現実の社会においては、様々な保険(自賠責保険、地震保険、原子力保険等)を用いた政策が実施されている。本研究室では、このような保険を用いた政策について、その経済学的機能に着目して分析を行い、新たなスキームを模索する。もちろん、企業経営における保険の有効活用も分析の対象とする。具体的な事例を対象とし、保険の機能について実践的な解説を行う。	74016

演習テーマ		指導教員			演習内容	担任者コード
理工システム系	耐震工学論	教授	一井 康二	博士(工学) 京都大学	構造物の現況把握に必要な計測技術や地震時の被害を予測する数値解析技術を学び、耐震診断や耐震設計に関して、性能とコストの両面から最適な解決策を議論・提案できる能力の獲得を目指す。日々進化する先端技術を実際の問題に応用していくことに興味があり、文理双方にわたる幅広い知的好奇心のある方を募集する。	75550
理工システム系	製品安全のための傷害防止論	教授	伊藤 大輔	博士(工学) 名古屋大学	傷害は人体に過度な力が作用することで発生し、身近な事故から交通事故まで様々な形態で起こるものである。本ゼミでは力学的な視点から傷害発生メカニズムの解明とメカニズムに基づく予防、被害軽減方法を研究する。研究手法としてはコンピュータシミュレーションを軸に、実験、事例分析、事故調査等を併せて行う。また、傷害の発生には事故前の行動、判断が大きく関与しており、このような要因の分析に関する研究を希望する方も歓迎したい。	76943
理工システム系	総合防災・減災学	教授	奥村 与志弘	博士(情報学) 京都大学	南海トラフ巨大地震や首都直下地震、スーパー台風などの巨大災害の発生を見据え、人的被害最小化のための諸課題に取り組む。理論的解析的な研究に加え、フィールドを重視した実践的な研究も行う。また、巨大災害は発生頻度が低いため、グローバルな視点で国外の事例も研究対象とする。	70838
理工システム系	事故のシミュレーション	教授	川口 寿裕	博士(工学) 大阪大学	2001年の朝霧歩道橋事故や2022年の梨泰院事故のように、多くの人が集まるイベントでは群集事故発生の危険が潜んでいる。しかし超過密群集内の状態を実験で詳細に調べることは困難である。また、近年は歩きスマホや歩道走行する自転車なども社会問題となっている。ここでは主に数値シミュレーションを用いて歩行者の流れや群集事故について調べ、必要に応じて実験・調査も並行して行いながら、安心・安全な歩行者空間の確立に貢献する知見を得ることを目指す。	70554
理工システム系	都市災害対策論	教授	越山 健治	博士(工学) 神戸大学	都市がさらに都市化する故に災害との関係は複雑になり、同時に対策も高度になっていく。本ゼミナールでは、都市と災害の関係性を解き明かし、今後の都市社会に必要な対策を提案していく。これまでの国内外の都市災害事例やその後の対策過程の理論化を基盤として、将来の都市の姿、人々の暮らしの姿から、都市社会の方向性を見据えつつ、都市が備えておかなければならない防災能力・減災能力の向上に向けた科学的実証研究を行う。	70555
理工システム系	地盤災害論	教授	小山 倫史	Ph. D スウェーデン王立工科大学 (KTH)	世界中で地震・降雨に起因した地すべりや斜面崩壊などの地盤災害が多発しており、近年、気候変動に伴う極端気象や巨大地震などに伴い、その規模が拡大するとともに災害形態も変化してきている。本研究分野では、これらの地盤災害発生のメカニズムの解明および防災・減災技術の確立まで幅広い研究を行う。研究のアプローチとしては、数値解析が中心となるが、実験、計測・モニタリングなどを組み合わせて多面的に行う。一連の研究をとおして、実践的な問題解決能力を養い、国際社会で中心となって活躍できる人材育成を目標とする。	69845

演習テーマ		指導教員			演習内容	担任者コード
理工システム系	水災害論	教授	※ 高橋 智幸	博士(工学) 東北大学	東日本大震災やインド洋津波、ハリケーン・カトリナなどの大規模な水災害が世界中で多発している。そこで、洪水や津波、高潮などを対象として、発生メカニズムの解明から防災・減災技術の開発までにわたる幅広い研究を行う。研究方法としては数値シミュレーションやリモートセンシング、現地調査、水理実験などを利用して多面的な解析を行う。これらの研究を通して、水災害以外の分野でも活かせる実践的な問題解決能力を養うことを目標としている。	70553
理工システム系	防災地震学	教授	林 能成	博士(理学) 東京大学	観測データの総合的な解析から、地震現象の本質解明と情報の有効活用にもとづく被害軽減の研究に取り組む。扱う観測データはHi-net、KNETといったインターネットで公開されている地震波形データが中心になるが、独自の臨時観測等を実施してオリジナルデータの取得も行う。さらに現地調査にもとづく被害データや、人の目撃証言といった記録についても系統的な収集・活用の研究にチャレンジする。これらの研究を通じて、地震を例に自然現象を定量的に扱う能力を高める。	70872
理工システム系	安全設計論	教授	細川 茂雄	博士(工学) 神戸大学	工業機器は本来的に機械的・熱的強度や疲労、経年劣化の問題を内包している。本研究分野では、特に熱エネルギー関連機器に焦点を絞って、実験的・理論的にこれら諸問題に関連した事象の解明を行なうとともに、機器の安全設計論・安全設計工学の確立を目指す。具体的なテーマとしては、ボイラ・原子炉における熱流動の安定性・除熱限界設計と熱疲労、技術史における工学的安全設計思想・制度の流れ、事故・風評被害の時間発展シミュレーションなどについて研究する。	76814
理工システム系	情報セキュリティ論	准教授	河野 和宏	博士(工学) 大阪大学	現代に生きる全員が安全・安心にICTを使うことができる高度情報化社会の実現に向けて、本演習では、セキュリティ技術の開発という工学的アプローチと利用者のリテラシー向上を目標とする教育工学的アプローチをとる。前者では、個人情報やプライバシーの保護を目的とした通信やデータの匿名化技術やAI・深層学習の技術を用いたメディアの真正性を維持する技術を開発する。後者では、心理学・教育学の知見と工学・情報学の発想を融合させ、利用者のセキュリティ学習への能動性・継続性を保ちつつ、実践力が身につく教育・学習ツールを設計する。	70560
理工システム系	応用データサイエンス	准教授	福井 敬祐	博士(理学) 広島大学	医学・疫学分野におけるデータを中心とした統計解析手法の開発や応用を行う。これらの分野におけるデータは生物を対象としたものであり、一つ一つのデータのバリエーションが大きいという特徴を持つ。これらのデータに対して、様々な統計学的手法を用いてその特徴を明らかにするため、新たな統計解析手法を開発していくことや、開発した手法を適用して実際の医療・政策へ活用していくことを目指す。	78409

社会安全研究科（博士課程後期課程）

募集研究科・専攻および入学定員

研究科	専攻	入学定員
社会安全研究科	防災・減災専攻	5名

注 入試種別ごとの募集人員は設定していません。

D 一般入学試験（10月募集・2月募集）

1 出願資格

次の(1)～(7)のいずれかの条件を満たす者

(本研究科入学までに、(1)～(5)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む)

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法第一条第二項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- (7) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認められた者で、本研究科入学までに24歳に達する者

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者
出願資格(6)または(7)に該当する志願者
2. 手続方法・申請期日
1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

2 出願書類

入学検定料35,000円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、巻末の「出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧（チェックリスト）」も出願書類と併せて提出すること。

出願書類【書類番号】	備考
全ての志願者が提出する書類	
志願票（提出用）【①】	Webエントリー完了後に印刷したものを提出してください。
志望理由書【②】	本学所定の用紙
出身大学院の成績証明書【③】	成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。 ○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書（原本）を提出してください。 ○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。

	<p>○在籍期間中にDD（デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー）プログラム等に参加したが、在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書（書式自由）を作成し、併せて提出してください。（学校印等は不要）</p>
出身大学院の修了（見込）証明書【④】	<p>出願書類③に、修了（見込）であることが記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>修了（見込）証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p>
後期課程における研究計画書【⑤】	<p>2,000字程度 原本1部とその写し3部</p> <p>パソコン等でA4用紙（横書き 40字×40行）を使用して作成してください。</p>
在留カードまたはパスポートの写し【⑪】 ★日本国以外の国籍を有する者のみ （特別永住者を除く。）	<p>在留カードの場合は両面をコピーしてください。</p> <p>パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。</p>
写真 2枚	<p>最近3カ月以内に撮影されたものを志願票（提出用）と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。（志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。）</p>
出願資格(1)～(5)で出願する者のうち、すでに修士論文を提出済みの者	
修士論文の概要【⑥】	<p>2,000字程度 原本1部とその写し3部</p> <p>パソコン等でA4用紙（横書き 40字×40行）を使用して作成してください。</p>
修士論文の写し【⑦】	4部
研究業績【⑨】 ★該当者のみ	<p>学術論文、学会発表、研究報告書等の抜刷またはその写しを提出できる場合は、各4部提出してください。</p>
出願資格(1)～(5)で出願する者のうち、修士論文を提出予定の者	
提出予定の修士論文の概要【⑥】	<p>2,000字程度 原本1部とその写し3部</p> <p>パソコン等でA4用紙（横書き 40字×40行）を使用して作成してください。</p>
研究業績【⑨】 ★該当者のみ	<p>学術論文、学会発表、研究報告書等の抜刷またはその写しを提出できる場合は、各4部提出してください。</p>
出願資格(6)または(7)で出願する者および 専門職学位を有する者（または取得見込みの者）で修士論文を作成していない場合	
業績報告書【⑧】	<p>研究業績または業務内容の概要</p> <p>2,000字程度 原本1部とその写し3部</p> <p>パソコン等でA4用紙（横書き 40字×40行）を使用して作成してください。</p>
研究業績【⑨】	<p>学術論文、学会発表、研究報告書等の抜刷またはその写し 各4部</p>

注 出願書類に不明な点がある場合は、必ず Web エントリー開始前のなるべく早い時期にミュージズオフィスにお問い合わせください。

3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して可否を判定します。

4 試験科目および試験時間

筆記試験	口頭試験
専門科目	筆記試験終了後
10:00～11:30 (90分)	

注 口頭試験の開始時刻および試験場等の詳細は、試験当日に指示します。

5 試験内容および配点

筆記試験 (専門科目) (100点)	口頭試験 (100点)
志望演習テーマに関する発展的知識を問う問題	<p>次のような点について試験を行います。</p> <p>① 専門に関わる発展的な知識</p> <p>② 入学後の研究テーマと研究方法</p> <p>③ これまでの研究内容等</p>

D 外国人留学生入学試験（10月募集・2月募集）

1 出願資格

「日本語能力試験（JLPT）」N1（旧試験では1級）に合格している者、または、「日本留学試験（EJU）」で日本語（記述含む）270点以上得点している者（ただし、当該出願資格に定めるレベル・スコアに準ずる日本語能力を有する者は、個別の入学資格審査により、出願資格を認める場合がある。）で、次の(1)～(5)のいずれかの条件を満たす者

ただし、「日本留学試験(EJU)」については、各日程の出願開始日が、当該発行機関が定める有効期間内に含まれているものに限る

（本研究科入学までに、(1)～(3)のいずれかの条件を満たす見込み者を含む）

- (1) 外国の大学院において修士の学位または専門職学位に相当する学位を得た者
- (2) 日本の大学院において外国人留学生として修士の学位または専門職学位を得た者
- (3) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法第一条第二項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (4) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- (5) その他、本大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学力を有すると認められた者で、本研究科入学までに24歳に達する者。ただし、日本において通常の課程による学校教育を受けたと認定した外国人を除く。

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

- ・ 出願資格に定めるレベル・スコアに準ずる日本語能力を有する者
- ・ 出願資格(4)または(5)に該当する志願者

2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

2 出願書類

入学検定料35,000円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、巻末の「出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧（チェックリスト）」も出願書類と併せて提出すること。

出願書類【書類番号】	備考
全ての志願者が提出する書類	
志願票（提出用）【①】	Webエントリー完了後に印刷したものを提出してください。
日本語または英語による志望理由書【②】	本学所定の用紙
出身大学院の成績証明書【③】	<p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書（原本）を提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中にDD（デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー）プログラム等に参加したが、在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p>

	<p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書（書式自由）を作成し、併せて提出してください。（学校印等は不要）</p>
出身大学院の修了（見込）証明書【④】	<p>修了（見込）であること、入学年月および修了（見込）年月が記載されていること。</p> <p>ただし、出願書類③に上記内容が記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>修了（見込）証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p>
日本語または英語による後期課程における研究計画書【⑤】	<p>2,000字程度 原本1部とその写し3部</p> <p>パソコン等でA4用紙（横書き40字×40行）を使用して作成してください。</p>
日本語能力に関する証明書【⑩】	<p>「日本語能力試験（JLPT）」の場合</p> <p>N1（旧試験1級）合格を証明する『合否結果通知書』または『認定結果及び成績に関する証明書』</p> <p>★必ず原本を提出してください。</p> <p>「日本留学試験（EJU）」の場合</p> <p>「日本語（記述含む）」を270点以上得点したことがわかるオンライン上での『成績確認書』をA4用紙にプリントアウトしたもの</p>
在留カードまたはパスポートの写し【⑪】	<p>在留カードの場合は両面をコピーしてください。</p> <p>パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。</p>
写真 2枚	<p>最近3カ月以内に撮影されたものを志願票（提出用）と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。（志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。）</p>
出願資格(1)～(3)で出願する者のうち、すでに修士論文を提出済みの者	
日本語または英語による修士論文の概要【⑥】	<p>2,000字程度 原本1部とその写し3部</p> <p>パソコン等でA4用紙（横書き40字×40行）を使用して作成してください。</p>
修士論文の写し【⑦】	4部
研究業績【⑨】 ★該当者のみ	<p>学術論文、学会発表、研究報告書等の抜刷またはその写しを提出できる場合は、各4部提出してください。</p>
出願資格(1)～(3)で出願する者のうち、修士論文を提出予定の者	
日本語または英語による提出予定の修士論文の概要【⑥】	<p>2,000字程度 原本1部とその写し3部</p> <p>パソコン等でA4用紙（横書き40字×40行）を使用して作成してください。</p>
研究業績【⑨】 ★該当者のみ	<p>学術論文、学会発表、研究報告書等の抜刷またはその写しを提出できる場合は、各4部提出してください。</p>
出願資格(4)または(5)で出願する者および専門職学位を有する者（または取得見込みの者）で修士論文を作成していない場合	
日本語または英語による業績報告書【⑧】	<p>研究業績または業務内容の概要</p> <p>2,000字程度 原本1部とその写し3部</p> <p>パソコン等でA4用紙（横書き40字×40行）を使用して作成してください。</p>
研究業績【⑨】	<p>学術論文、学会発表、研究報告書等の抜刷またはその写し</p> <p>各4部</p> <p>パソコン等でA4用紙（横書き40字×40行）を使用して作成してください。</p>

注 出願書類に不明な点がある場合は、必ずWebエントリー開始前のなるべく早い時期にミュージズオフィスにお問い合わせください。

3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 試験科目および試験時間

筆記試験	口頭試問
専門科目	筆記試験終了後
10:00～11:30 (90分)	

注 口頭試問の開始時刻および試験場等の詳細は、試験当日に指示します。

5 試験内容および配点

筆記試験 (専門科目) (100点)	口頭試問 (100点)
志望演習テーマに関する発展的知識を問う問題	次のような点について試問を行います。 ① 専門に関わる発展的な知識 ② 入学後の研究テーマと研究方法 ③ これまでの研究内容等

D 社会人入学試験（10月募集・2月募集）

1 出願資格

次の(1)および(2)に該当する者

(1) 次のア～キのいずれかに該当する者

(本研究科入学までに、ア～オのいずれかの条件を満たす見込みの者を含む)

- ア 修士の学位または専門職学位を有する者
- イ 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- ウ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- エ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- オ 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法第一条第二項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- カ 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- キ 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認められた者で、本研究科入学までに24歳に達する者

(2) 次のア～ウのいずれかに該当する者

- ア (1)-ア～キのいずれかの要件を満たした後、入学時において3年以上経過する者
- イ 出願時において、企業、官公庁、教育・研究機関等において1年以上勤務している者または経験を有する者
- ウ 本大学院において、個別の入学資格審査により、イに準ずる職歴を有すると認められた者

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者
出願資格(1)-カ、(1)-キまたは(2)-ウに該当する志願者
2. 手続方法・申請期日
1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

2 出願書類

入学検定料35,000円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、巻末の「出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧（チェックリスト）」も出願書類と併せて提出すること。

出願書類【書類番号】	備考
全ての志願者が提出する書類	
志願票（提出用）【①】	Web エントリー完了後に印刷したものを提出してください。
志望理由書【②】	本学所定の用紙
出身大学院の成績証明書【③】	成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。 ○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書（原本）を提出してください。 ○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。

	<p>○在籍期間中にDD（デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー）プログラム等に参加したが、在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書（書式自由）を作成し、併せて提出してください。（学校印等は不要）</p>
出身大学院の修了（見込）証明書【④】	<p>出願書類③に、修了（見込）であることが記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>修了（見込）証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p>
後期課程における研究計画書【⑤】	<p>2,000字程度 原本1部とその写し3部 パソコン等でA4用紙（横書き40字×40行）を使用して作成してください。</p>
在留カードまたはパスポートの写し【⑪】 ★日本国以外の国籍を有する者のみ （特別永住者を除く。）	<p>在留カードの場合は両面をコピーしてください。 パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。</p>
写真 2枚	<p>最近3カ月以内に撮影されたものを志願票（提出用）と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。 （志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。）</p>
出願資格(1)-ア～オで出願する者のうち、すでに修士論文を提出済みの者	
修士論文の概要【⑥】	<p>2,000字程度 原本1部とその写し3部 パソコン等でA4用紙（横書き40字×40行）を使用して作成してください。</p>
修士論文の写し【⑦】	4部
研究業績【⑨】 ★該当者のみ	<p>学術論文、学会発表、研究報告書等の抜刷またはその写しを提出できる場合は、各4部提出してください。</p>
出願資格(1)-ア～オで出願する者のうち、修士論文を提出予定の者	
提出予定の修士論文の概要【⑥】	<p>2,000字程度 原本1部とその写し3部 パソコン等でA4用紙（横書き40字×40行）を使用して作成してください。</p>
研究業績【⑨】 ★該当者のみ	<p>学術論文、学会発表、研究報告書等の抜刷またはその写しを提出できる場合は、各4部提出してください。</p>
出願資格(1)-カまたは(1)-キで出願する者および 専門職学位を有する者（または取得見込みの者）で修士論文を作成していない場合	
業績報告書【⑧】	<p>研究業績または業務内容の概要 2,000字程度 原本1部とその写し3部 パソコン等でA4用紙（横書き40字×40行）を使用して作成してください。</p>
研究業績【⑨】	<p>学術論文、学会発表、研究報告書等の抜刷またはその写し 各4部</p>

注 出願書類に不明な点がある場合は、必ずWebエントリー開始前のなるべく早い時期にミュージズオフィスにお問い合わせください。

3 選考方法

書類選考および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 試験科目および配点

筆記試験	口頭試問(200点)
行いません	<p>次のような点について試問を行います。</p> <p>①専門に関わる発展的な知識 ②入学後の研究テーマと研究方法 ③社会人業務や経験と研究との関連性 ④これまでの研究内容等</p>

注 口頭試問の開始時刻は受験票にて通知します。

注 出願に際しては、志望する演習テーマを選択してください。

ただし、演習担当教員は、出願時の希望を考慮の上、最終的には研究科で決定します。

現段階で、※印の指導教員については、在学期間中に不在となる期間がありますので、必ず事前にミューズオフィスへ連絡してください。

なお、演習テーマおよび指導教員については変更することがあります。

<https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/>

(2023年4月現在)

2024年度 社会安全研究科 演習テーマおよび指導教員一覧 (博士課程後期課程)

演習テーマおよび指導教員				担任者コード
耐震工学研究	教授	博士(工学) 京都大学	一井 康二	75550
安全設計研究	教授	博士(工学) 名古屋大学	伊藤 大輔	76943
社会減災政策研究	教授	博士(情報学) 京都大学	奥村与志弘	70838
リスクマネジメント研究	教授	博士(商学) 大阪市立大学	※亀井 克之	94732
群集安全研究	教授	博士(工学) 大阪大学	川口 寿裕	70554
都市防災研究	教授	博士(工学) 神戸大学	越山 健治	70555
地盤災害研究	教授	Ph.Dスウェーデン王立工科大学(KTH)	小山 倫史	69845
災害情報研究	教授	博士(情報学) 京都大学	※近藤 誠司	74014
安全と法システム研究(私法)	教授	博士(法学) 中央大学	高野 一彦	70557
水防災研究	教授	博士(工学) 東北大学	※高橋 智幸	70553
安全心理研究	教授		土田 昭司	97501
危機対応に関する行政学・ 公共政策学・政治学研究	教授	博士(人間・環境学) 京都大学	※永田 尚三	70549
安全と経済システム研究	教授	博士(国際公共政策) 大阪大学	永松 伸吾	70558
ヒューマンエラー研究	教授	博士(人間科学) 大阪大学	中村 隆宏	70559
労働安全衛生研究	教授	博士(心理学) 関西学院大学 博士(医学) 岡山大学	廣川 空美	78069
工学安全システム研究	教授	博士(工学) 神戸大学	細川 茂雄	76814
災害心理学研究	教授	博士(教育心理学) 名古屋大学	元吉 忠寛	70550
安全と法システム研究(公法)	教授	博士(情報学) 京都大学	山崎 栄一	74019
公益事業と安全システム研究	教授	博士(学術) 関西大学	吉田 裕	75502

VI 共通事項

1 障がいのある受験生等への受験上の配慮および修学上の配慮について

疾病・負傷や障がい等のために、入学試験受験上の配慮および修学上の配慮を希望する志願者に対しては、その程度に応じ、受験時や入学後の学修環境において、可能な限り配慮措置を講じますので、各日程の Web エントリー開始日までに、大学院入試グループに申し出てください。

所定の期日までに申し出がない場合や、事前の相談がない場合は、受験時の配慮や、入学後に修学上の配慮ができないことがあります。

なお、出願後の事故や負傷・急な疾病等の場合は、期限後であっても速やかに申し出てください。

2 安全保障輸出管理について

本学では、留学生の受入れに際して、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理を行っています。

これにより、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので留意してください。

3 受験上の注意

(1) 最初の試験の試験開始 20 分前までに指定された試験場に入場してください。

(2) 受験票を必ず携行してください。忘れた場合は受験できないことがあります。

(3) 最初の試験の試験開始 30 分経過後の遅刻者には受験を許可しません。

なお、人身事故等による公共交通機関の遅れ（ただし、バス・タクシーを除く）など、本人の責めに帰さない事由による遅刻の可能性がある場合には、試験開始時刻を繰り下げる等の措置を講じることがありますので、集合時刻までに必ず入試実施本部へ連絡し、指示を受けてください。

(4) 試験開始後、途中で退場することは認めません。

(5) 机の上には、下記以外のものを置くことはできません。

○受験票（机上の受験番号シールの手前に置く）

○筆記用具、消しゴム、鉛筆削り（電動式、大型のものおよびナイフ類は使用不可）

○時計（計時機能だけのものに限りです。秒針音のするものや大型のものは使用不可）

○ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけを取り出したもの）

※目薬、下敷、座布団、ひざ掛け、ハンカチの使用を希望する場合は、あらかじめ試験監督者の許可を得てください。

(6) シャープペンシルの芯ケース、定規、分度器、コンパス、計算機（電卓など）、計算・辞書機能等の付いた時計、ウェアラブル端末（腕時計型、眼鏡型など）、ストップウォッチ、キッチンタイマー、携帯電話・スマートフォンの使用および文房具の貸借は一切許可しません。また、アラーム付きの時計は、アラーム機能を解除しておいてください。

(7) 携帯電話・スマートフォン、携帯型音楽プレイヤー等は必ず電源を切り、カバンに入れてください。

(8) 耳栓は、監督者の指示等が聞き取れない場合がありますので、使用することを許可しません。

(9) 試験場においては、すべて試験監督者の指示に従ってください。

(10) 不正行為について

次の①～⑧のいずれかに該当する場合、不正行為となる場合があります。

不正行為者には、ただちに試験の中止を命じ、全科目を無効とし、以後に実施される本年度の入学試験の受験を認めません。

- ① 不正な手段をもって自己を利するような行為をすること。
 - ② 試験時間中に、他の受験者を利するような行為をすること。
 - ③ 試験時間中に、使用を許可されているもの以外のものを机の上に置くこと。
 - ④ 試験時間中に、携帯電話等の通信機器を身に付けること。
 - ⑤ 試験場において、他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - ⑥ 試験場において、試験監督者の指示に従わないこと。
 - ⑦ 志願者以外のものが志願者本人になりすまして試験を受けること。
 - ⑧ その他、試験の公平性を損なう行為をすること。
- (11) 日本の学校保健安全法で出席停止が定められている感染症に関する注意事項
- 入学試験当日、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症(インフルエンザ等)に罹患し、治癒していない場合、他の受験者や試験監督者等に感染する恐れがありますので、入学試験の受験をご遠慮願います。
- この理由により入学試験を欠席する場合は、当該入学試験にかかる入学検定料を返還しますので、次の要領で手続きを行ってください。
- [入学検定料返還の申請方法]
- ① 次の日時までに試験場となる各キャンパスへ電話をしてください。

受付日時: i) 欠席する入学試験前日まで	9時00分～17時00分
ii) 欠席する入学試験当日	8時00分～最初の試験の集合時刻

連絡先: (法学・文学・経済学・商学・社会学・理工学・外国語教育学・心理学・東アジア文化・ガバナンス研究科)

06-6368-1407

(総合情報学研究科)	072-690-3213
(社会安全研究科)	072-684-4000
(人間健康研究科)	072-229-5022

* 上記日時に連絡することなく欠席した場合は、通常の欠席として取り扱います(入学検定料の返還はいたしません)。
 - ② 以下の申請書類を概ね2週間以内に提出してください。
 - ・入学検定料・選考料返還申請書(電話による申請受付後に本学よりお渡します)
 - ・診断書(以下の内容が記載されているもの)
 - ◆ 病名: 学校保健安全法で出席停止が定められている感染症名
 - ◆ 加療期間: 欠席した入学試験日が含まれているもの
- (12) 関西大学では、自動車・モーターバイクによる通学・通勤は全面禁止になっており、駐車場はありませんので、受験の際は公共交通機関を利用してください。

※ 試験会場周辺でのアンケート調査等があっても、関西大学とは一切関係がありませんので、十分ご注意ください。

試験会場周辺で合否連絡などを口実に、個人情報などを記入させたり、その場で連絡料などと称して金銭を支払わせたりするような事例や、大学の名前をかたり、入学金<入学登録金>や授業料等を振り込ませる詐欺等には十分ご注意ください。

また、入学金<入学登録金>や授業料等の振込みには、合格通知書に同封する専用の振込用紙が必要です。したがって、関西大学から電話やメールで現金の振込みをお願いすることは一切ありませんので、ご注意ください。

4 入学試験実施に際しての対応について

関西大学では、入学試験の実施に際し、可能な限り公平で良好な受験環境の保全に努めます。しかしながら、やむを得ず次のような対応をとる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

(1) 大雪、地震、津波、台風、洪水等の自然災害、火災、停電、感染症（はしか、インフルエンザ等）の感染拡大、その他本学の責によらない不可抗力による事故等が発生した場合、試験開始時刻の繰下げ（試験開始時刻を繰り下げた場合、最終終了時刻も変更になり得ること、また試験時間を確保するために休憩時間を内規に基づいて調整することがあります。）、試験や合格者発表の延期等の措置をとることがあります。この場合、本大学院入試情報サイトにおいて周知しますので、適宜確認してください。ただし、試験開始時刻の繰下げ、試験や合格者発表の延期等の措置によって生じた受験者の負担費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。

(2) 生活騒音（日常生活において通常起こりうる騒音等）に対して、特別な対応はいたしません。

《生活騒音の例》

- ・ 風音、雨音、雷鳴
- ・ 航空機、自動車、バイク、鉄道の騒音
- ・ 通過する緊急自動車のサイレン音
- ・ 工事の音
- ・ 廃品回収や物売りの類およびイベント等のアナウンス
- ・ 動物の鳴き声
- ・ 空調や照明等、試験会場となる施設・設備が通常発する音
- ・ 他の受験者の発する音（咳、くしゃみ、ためいき、鼻をすする音、筆記用具を使用する際の音等）

(3) 試験中に万一、携帯電話・スマートフォンや時計などの音や振動などが発生し、発生源のかばん等が特定できた場合は、持ち主の同意なしに試験監督者が試験場外に持ち出し、入試実施本部で保管することがあります。

(4) 試験場の設備（机、椅子、空調、照明、音響設備等）の違いなどの考慮は一切行いません。

(5) 試験時間中に、試験監督者が試験実施上必要な指示・説明・巡回を行うことに伴って生じる音等に対する申し出には応じられません。

(6) 他の受験者に迷惑と判断される行為がある場合は、不正行為とみなすことや別室受験を指示するなどの措置を講じることがあります。

その他、以下については、すべて本大学院入試情報サイト(https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/)にてお知らせします。

- ・ 入学試験の実施に関して緊急に連絡が生じた際のお知らせ
- ・ 募集要項に訂正があった場合のお知らせ
- ・ 担任者一覧（専任教員一覧）等に変更があった場合のお知らせ
- ・ 進学説明会等の案内
- ・ その他、入学試験全般に関するお知らせ 等

5 合格者発表

合格・不合格の通知書は、各日程の合格者発表日に本人宛に「速達郵便」で発送します。

これが唯一の正式な通知です。

郵便事情等により通知書が届くのは翌々日以降となる場合もあります。

注1 通知書の郵送途中で生じた事故（紛失、個人情報の漏えい等）について、本学では責任を負いかねます。

注2 大学構内において掲示による発表は行いません。

注3 電話やメール等による合否の問い合わせには、一切応じません。

注4 試験当日に欠席した場合は、合否通知は行いません。

注5 文書による正式な合否通知とは別に、受験者の便宜を図るため、補完的な措置として、合格者の受験番号を本大学院入試情報サイトに期間を限って掲載します。

【掲載期間】各日程の合格者発表日11時（予定）から1週間程度

6 入学手続について

合格者には「合格通知書」「入学時納付金納入用紙」等の書類を送付しますので、同封書類の案内に基づき、次の入学手続を行ってください。所定の期日までに入学手続を完了しない場合は入学を許可しません。

(1) 入学手続Ⅰ-(1) (入学金<入学登録金>の納入)

合格通知書と同封する本学所定の振込依頼票により締切日の13時までに入学金<入学登録金>を納入してください。

なお、一旦納入された入学金<入学登録金>は返還いたしません。

注 関西大学を卒業または関西大学大学院を修了した者は、入学金<入学登録金>を徴収しないため、「入学手続Ⅰ-(1) (入学金<入学登録金>の納入)」はありません。

(2) 入学手続Ⅰ-(2) (授業料・諸費の納入)

入学手続Ⅱ (Web登録・書類の提出)

入学金<入学登録金>を納入した人は、2024年2月上旬に送付(2月募集合格者は合格通知書と同封)する『入学手続案内書(Ⅱ)』に基づき、授業料・諸費の納入およびWeb登録・必要書類を提出してください。

また、授業料・諸費は所定の振込依頼票により締切日の13時までに納入してください。

なお、次の場合は必ず大学院入試グループへ連絡してください。

- ・2024年2月13日(火)を過ぎても入学手続書類が届かない場合(2月募集を除く)
- ・合格後に住所が変更になった場合

連絡がないために、各種書類が到着しなかったり、遅延した場合、関西大学はその責任を負いません。入学手続書類に基づき所定の期日までに入学手続きを完了しない場合は、入学を許可しませんのでご注意ください。

2月募集の合格者については、入学手続ⅠとⅡを同時に行ってください。

(3) 納入方法

本学所定の振込依頼票で最寄りの銀行・信用金庫・信用組合・農協等の窓口から電信扱いで振り込んでください。ATM(現金自動預払機)での振込みはしないでください。また、郵便局(ゆうちょ銀行)、コンビニエンスストア等からの振込みはできません。

※ 入学辞退に伴う授業料等の返還について

やむを得ない理由で入学を辞退する場合は、2024年3月31日(日)までに入学辞退を願い出た者に限り、すでに納めた授業料・諸費の返還を請求することができます。

(具体的な手続方法については、『入学手続案内書(Ⅱ)』に記載します。)

7 在留資格「留学」の取得について

本大学院入学予定者のうち、日本に留学するための査証（ビザ）取得が必要となる方を対象に「在留資格認定証明書」交付の代行申請を行っています。

注 「在留資格認定証明書」交付の審査は出入国在留管理庁が行うため、本学が交付を保証するものではありません。

「在留資格認定証明書」交付に関する審査は、必要書類の提出と学費（入学金・授業料）および諸費の納入が確認できてから通常6週間以上かかります。

代行申請を希望する場合は、次の手続きを行ってください。

- (1) Web エントリー（出願手続）の際に「在留資格認定証明書の代行申請」欄で「希望する」を選択してください。
- (2) 入学試験合格後、2 ページの「Ⅲ 2024 年度入学試験日程および各種手続期間一覧」に記載の入学手続Ⅰ・Ⅱにかかわらず、後日、別途ご案内する所定の期間内に「学費（入学金・授業料）および諸費」を納入してください。
また、納入後、「海外送金依頼書」を国際部へ提出してください。
- (3) 入学試験合格後、「在留資格認定証明書」の代行申請に必要な書類を準備し、国際部へ提出してください。
- (4) 出入国在留管理庁から発行された「在留資格認定証明書」を、国際部から各自にお送りしますので、各自で母国の在外日本国公館（日本大使館または総領事館など）へ留学の査証申請をしてください。

なお、上記 (2)・(3) については、募集月に応じて次のとおりご案内します。

● 2024 年度春学期（4 月）入学

【7 月募集・8 月募集・10 月募集・12 月募集を受験する方】

合格者発表日から1週間以内に「在留資格認定証明書」交付の代行申請案内メールを送付します。
このメールが届いていない場合は、以下の連絡先までご連絡ください。

【2 月募集を受験する方】

出願締切日から2週間以内に「在留資格認定証明書」交付の代行申請案内メールを送付します。
このメールが届いていない場合は、以下の連絡先までご連絡ください。

● 2024 年度秋学期（9 月）入学

【7 月募集・8 月募集を受験する方】

出願締切日から2週間以内に「在留資格認定証明書」交付の代行申請案内メールを送付します。
このメールが届いていない場合は、以下の連絡先までご連絡ください。

<連絡先>

関西大学 国際部

Tel : +81-6-6368-0178

E-mail : kuis@ml.kandai.jp

8 2024年度 学 費・諸 費

博士課程前期課程

(単位：円)

種 別		2024年度		2025年度以降 (年 間)
		入学初学期	秋学期	
学費	入 学 金	130,000	—	—
	授 業 料	489,500	489,500	979,000
諸費	校友会基本会費	10,000	—	20,000
合 計		629,500	489,500	999,000

博士課程後期課程

(単位：円)

種 別		2024年度		2025年度 (年 間)	2026年度以降 (年 間)
		入学初学期	秋学期		
学費	入 学 金	130,000	—	—	—
	授 業 料	409,500	409,500	819,000	819,000
諸費	校友会基本会費	10,000	—	20,000	—
合 計		549,500	409,500	839,000	819,000

注1 関西大学を卒業した者、関西大学大学院を修了した者または本学学部生であって大学院学則第46条第1項第11号に規定する者（飛び入学する者）が、大学院へ進学する場合は、入学金〈入学登録金〉を徴収しません。

注2 関西大学留学生別科を修了した者または本学留学生別科に在学する学生が修了を待たずに引き続き学部または大学院へ進学する場合は、入学金〈入学登録金〉を半額とします。

注3 諸費の校友会基本会費は、入学時に10,000円、次年度に20,000円の計30,000円を委託により徴収いたします。

なお、関西大学を卒業した者、関西大学大学院を修了した者または本学学部生であって大学院学則第46条第1項第11号に規定する者（飛び入学する者）で、すでに納入済の方からは徴収いたしません。

9 奨学金のご案内

2024年度 募集奨学金の種類および概要

本頁でご案内する奨学金制度は、2024年度入学生を対象とした制度です。

- ※ 研究科によって選考基準が異なります。詳細については各キャンパス奨学金係・国際部までお問い合わせください。
- ※ ②・③・④・⑤・④・⑥は併給できません。

① 日本学生支援機構大学院奨学金

貸与制 ※ 出願制

募集対象者

- 2024年度 博士課程前期課程及び博士課程後期課程の入学者
(注1) 学業・人物ともに優れ、大学院において研究を継続するために、本奨学金が必要である者。ただし、外国人留学生を除く。
(注2) 秋学期入学者に関しては、必ず募集があるとは限りません。利用を検討される方はお問い合わせください。

奨学金の種類・貸与月額

■ 第一種奨学金(無利子)

課程	貸与月額
博士課程前期課程	50,000円・88,000円から希望選択
博士課程後期課程	80,000円・122,000円から希望選択

■ 第二種奨学金(有利子)

課程	貸与月額
博士課程前期課程	50,000円・80,000円・100,000円・130,000円
博士課程後期課程	150,000円から希望選択

貸与期間

- 2024年度春学期または秋学期から標準修業年限の終期まで

【日本学生支援機構大学院第一種奨学金】特に優れた業績による奨学金返還免除内定制度

関西大学大学院博士課程前期課程(修士課程)及び関西大学専門職大学院へ進学予定であり、進学後、日本学生支援機構大学院第一種奨学金を貸与される方を対象として、奨学金の全部または一部の返還が免除される『内定制度』が設けられています。詳細につきましては、2023年12月(予定)に奨学支援グループWebサイトに掲載いたします。

大学院学生対象の給付奨学金採用実績 (2023年度実績)

- 全大学院学生のうち、およそ4割の大学院学生が給付奨学金に採用されています。

② 関西大学大学院特別給付奨学金

給付制 ※ 通知制

(給付対象者には入学前に採用決定通知書を送付)

給付対象者

- 2024年度 博士課程前期課程及び博士課程後期課程の入学者のうち大学院入学試験成績優秀者

選考対象となる入試種別

- 博士課程前期課程および博士課程後期課程の全入試日程終了後、全ての入学試験を対象に選考を行います。ただし、法学研究科、商学研究科、総合情報学研究科、理工学研究科、外国語教育学研究科および心理学研究科の博士課程前期課程、総合情報学研究科、心理学研究科の博士課程後期課程、社会安全研究科の博士課程後期課程 Ph.D.of Disaster Management Programについては、次のとおりです。

法学研究科(博士課程前期課程):JICAプログラムによる外国人留学生特別入学試験を除く全ての入学試験を対象に選考を行います。

商学研究科(博士課程前期課程):商学部・商学研究科5年一貫教育プログラム入学試験(10月募集)、学内進学試験(10月募集・2月募集)を対象に選考を行います。

総合情報学研究科(博士課程前期課程・博士課程後期課程):7月募集を除く全ての入学試験を対象に選考を行います。

理工学研究科(博士課程前期課程):学内進学試験(6月募集)、一般入学試験(8月募集)、学内進学試験(学部早期卒業生対象)を対象に選考を行います。

外国語教育学研究科(博士課程前期課程):アストンDDプログラムによる一般入学試験を除く全ての入学試験を対象に選考を行います。

心理学研究科(博士課程前期課程):学内進学試験(7月募集)を対象に選考を行います。

心理学研究科(博士課程後期課程):一般入学試験(2月募集)を対象に選考を行います。

社会安全研究科(博士課程後期課程Ph.D.of Disaster Management Program):外国人留学生入学試験(英語コースPDM)(2月募集・6月募集)を対象に選考を行います。

給付金額

課程	研究科	給付金額(年額)
博士課程前期課程	法学、文学、経済学、商学、社会学、心理学(心理学専攻)、東アジア文化、ガバナンス、人間健康	500,000円
	外国語教育学	550,000円
	総合情報学、社会安全	600,000円
	心理学(心理臨床学専攻)	650,000円
	理工学	750,000円
博士課程後期課程	全研究科	500,000円

※博士課程前期課程において、3年コース、1年コースを希望される方は、給付金額が異なります。別途、お問い合わせください。

給付期間

- 2024年度春学期または秋学期から標準修業年限の終期まで
(2学期経過ごとに学業成績による継続審査を行います。その結果、給付期間を短縮することがあります。)

③ 関西大学大学院給付奨学金**給付制**

※ 出願制

給付対象者

- 学業成績優秀者で経済的理由により修学が困難な大学院学生
(2023年4月募集【関西大学大学院入学前予約採用型給付奨学金】で採用が内定し、給付の要件を満たしている場合は出願できません。)
(関西大学大学院特別給付奨学金との併給不可)

給付金額

- 下表参照

給付期間

- 1年間 (再出願可)

④ 関西大学教育助成基金給付奨学金**給付制**

※ 出願制

給付対象者

- 学業成績優秀者で経済的理由により修学が困難な大学院学生
(2023年4月募集【関西大学大学院入学前予約採用型給付奨学金】で採用が内定し、給付の要件を満たしている場合は出願できません。)
(関西大学大学院特別給付奨学金との併給不可)

給付金額

- 下表参照

給付期間

- 1年間 (再出願可)

⑤ 関西大学社会人大学院学生給付奨学金**給付制**

※ 出願制

給付対象者

- 学業成績優秀、かつ各研究科で定める優秀な業績を収めている社会人大学院学生
(関西大学大学院特別給付奨学金との併給不可)

給付金額

- 下表参照

給付期間

- 1年間 (再出願可)

給付金額

◀③関西大学大学院給付奨学金、④関西大学教育助成基金給付奨学金、⑤関西大学社会人大学院学生給付奨学金共通▶

課程	研究科	給付金額(年額)
博士課程前期課程	法学、文学、経済学、商学、社会学、心理学(心理学専攻)、東アジア文化、ガバナンス、人間健康	250,000円
	外国語教育学	275,000円
	総合情報学、社会安全	300,000円
	心理学(心理臨床学専攻)	325,000円
	理工学	375,000円
博士課程後期課程	全研究科	250,000円

※博士課程前期課程において、3年コース、1年コースを希望される方は、給付金額が異なります。別途、お問い合わせください。

千里山キャンパス【学生センター奨学支援グループ】

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35
TEL.06-6368-1121(大代表)
窓口取扱時間/9:00~17:00 (土・日・祝日・休業期間中を除く)

高槻キャンパス【高槻キャンパスオフィス】

〒569-1095 高槻市霊仙寺町2-1-1
TEL.072-690-2163(直通)
窓口取扱時間/9:00~17:00 (土・日・祝日・休業期間中を除く)

高槻ミュージズキャンパス【ミュージズオフィス】

〒569-1098 高槻市白梅町7-1
TEL.072-684-4000(代表)
窓口取扱時間/9:00~17:00 (土・日・祝日・休業期間中を除く)

堺キャンパス【堺キャンパス事務室】

〒590-8515 堺市堺区香ヶ丘町1-11-1
TEL.072-229-5022(代表)
窓口取扱時間/9:00~17:00 (土・日・祝日・休業期間中を除く)

① 私費外国人留学生入学前予約奨学金 (新入生対象)**給付制** ※ 通知制

(原則として給付対象者には入学前に採用内定通知を送付)

給付対象者

- 2024年度 博士課程前期課程及び博士課程後期課程の新入生のうち、大学院入学試験成績等が優秀でありながら経済的に修学困難な私費外国人留学生(在留資格「留学」を取得する留学生)
- ※ 博士課程前期課程の商学・社会学研究科は語学能力に関する条件が別途あります。
- ※ 博士課程後期課程は原則として対象者全員に給付

給付金額

- 下表参照

給付期間

- 1年間
- ※ 博士課程後期課程の私費外国人留学生は原則として私費外国人留学生奨学金を継続して受給することができます。

①私費外国人留学生入学前予約奨学金(新入生対象)の成績基準、給付予定人数、給付金額、必要書類等は研究科によって異なります。**詳細については、必ず国際部ウェブサイトをご確認ください。**

<https://www.kansai-u.ac.jp/Kokusai/from/support.php>

② 私費外国人留学生奨学金 (2年次生以上対象)**給付制** ※ 出願制**給付対象者**

- 博士課程前期課程及び博士課程後期課程の2年次以上に在学する者のうち、学業成績が優秀でありながら経済的に修学困難な私費外国人留学生(在留資格「留学」を取得する留学生)
- ※ 博士課程後期課程は原則として対象者全員に給付

給付金額

- 下表参照

給付期間

- 博士課程前期課程:1年間(再出願可)
- 博士課程後期課程:標準修業年限内(但し、毎年度申請が必要です)

給付金額

≪①・② 私費外国人留学生奨学金 共通≫

課程	研究科	給付金額(年額)
博士課程前期課程	全研究科	研究科により異なる※
博士課程後期課程	法学、文学、経済学、商学、社会学、外国語教育学、心理学、東アジア文化、ガバナンス、人間健康	350,000円
	総合情報学、理工学、社会安全	400,000円

※各研究科の給付金額・成績基準等の詳細については、国際部ウェブサイトをご確認ください。

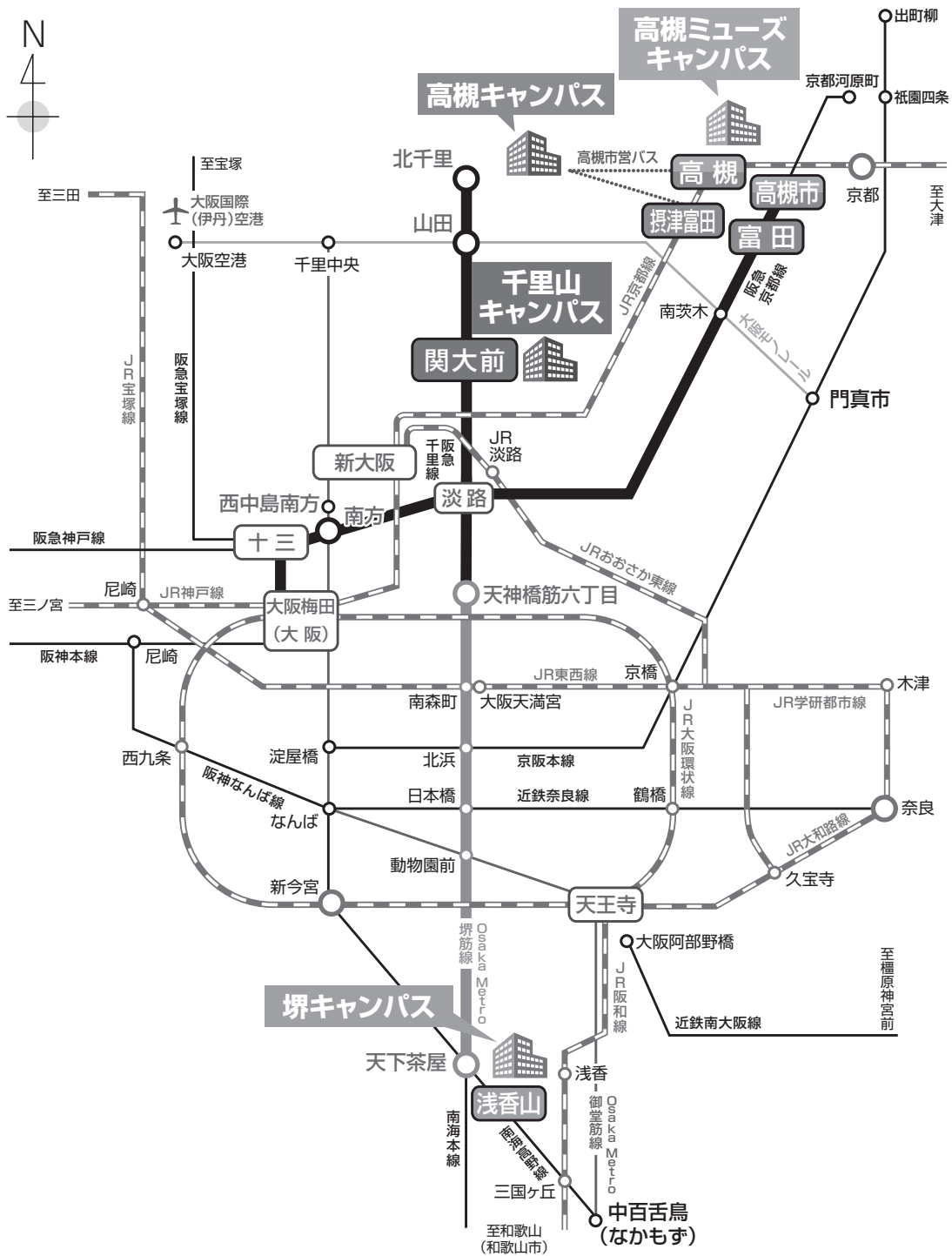
この他に、国際部では私費外国人留学生のみを対象とした、外部の財団等が給付する奨学金を取り扱っています。留学生を対象とする奨学金の詳細については、国際部ウェブサイトをご確認ください。

<https://www.kansai-u.ac.jp/Kokusai/from/support.php>

国際部

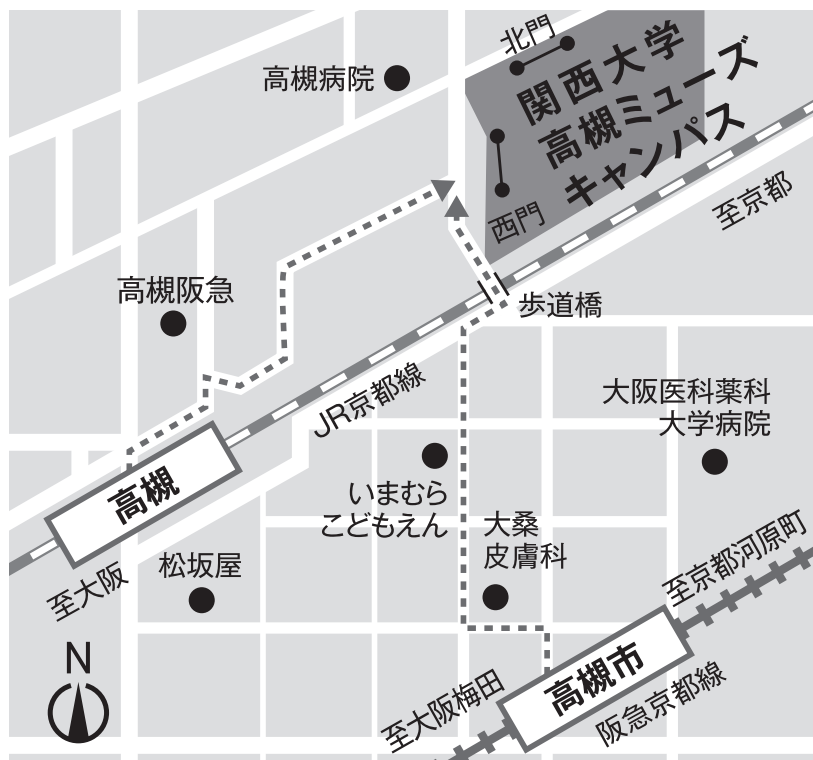
〒564-8680 吹田市山手町3-3-35
Tel.06-6368-1121(大代表)
窓口取扱時間/9:00~17:00 (土・日・祝日・休業期間中を除く)

10 関西大学への主な交通機関



11 試験場のご案内

高槻ミュージズキャンパス



- JR「大阪」駅からJR東海道本線「京都」方面行で「高槻」駅下車(この間、新快速で約15分)、徒歩約7分。
- 阪急電鉄「大阪梅田」駅から京都線「京都河原町行」で「高槻市」駅下車(この間、特急で約20分)、徒歩約10分。
- 新幹線「新大阪」駅からJR東海道本線「京都」方面行で「高槻」駅下車(この間、新快速で約15分)、徒歩約7分。
- 大阪国際空港(伊丹空港)〈大阪モノレール「大阪空港」駅〉から「門真市行」で「南茨木」駅下車。阪急電鉄「南茨木」駅から京都線「京都河原町行」で「高槻市」駅下車(この間、約40分～45分)、徒歩約10分。

出願書類に関する注意事項

受理した書類は返却いたしません。

1 志望理由書

- (1) 手書きの場合、黒のインクまたはボールペン（消せるボールペンは除く）で記入してください。
パソコン等を使用する場合、PDF のフォーム機能を利用して文字入力が可能です。本学所定用紙を改変することなく入力のうえ、印刷してください。ただし、正しく入力できない場合やフォーム機能が設定されていない箇所については、印刷後、手書きで記入してください。
- (2) 次の①～③を参照のうえ、各自が志望する演習テーマを選択してください。なお、博士課程前期課程においては志望演習テーマを第1志望から第3志望まで選択してください。第2志望・第3志望の演習テーマがない場合は、「なし」を記入してください。
 - ① **博士課程前期課程** 本募集要項 22～26ページ
「2024年度 社会安全研究科 演習テーマおよび指導教員一覧（博士課程前期課程）」
博士課程後期課程 本募集要項 36 ページ
「2024年度 社会安全研究科 演習テーマおよび指導教員一覧（博士課程後期課程）」
 - ② 社会安全研究科ウェブサイト (https://www.kansai-u.ac.jp/Fc_ss/)
 - ③ 関西大学大学院Information2024（別冊子）
- (3) 出願後、志望演習テーマの変更は一切認めません。
- (4) 学歴事項欄には通学したすべての教育機関（小学校～大学・大学院）について古い順番に記入してください。大学・大学院の経歴、転学部・編入学・留学等（科目等履修生を含む）の経歴がある場合はすべて記入してください。また、日本語学校や研究生としての所属大学・大学院についても記入してください。なお、大学・大学院における学部・学科名および研究科・専攻名は証明書記載の内容と一致するよう、省略せず、正しく記入してください。
- (5) 卒業（修士）論文論題欄は、仮題でもかまいませんので必ず記入してください。なお、卒業（修士）論文が未定の場合は「未定」、ない場合は「なし」と記入してください。また、指導教員がない場合は、「なし」と記入してください。
- (6) 記入する氏名は、住民票、パスポートまたは在留カードに基づいて記入してください。

なお、外国人留学生の氏名はカタカナまたは漢字・アルファベットを使用してください（ひらがな不可）。

また、Web エントリーにおいて代用漢字等を使用した場合については、出願書類と Web エントリー上の文字が異なっても問題ありません。

2 研究計画書

必ず氏名を明記してください。

裏面につづく

3 その他

- (1) 証明書記載の氏名と出願時の氏名が異なる場合は、同一人であることがわかる公的な証明書（戸籍抄本・戸籍個人事項証明書等）を別途提出してください。
- (2) 成績証明書、卒業・修了（見込）証明書の有効期限はありません。内容が最新のものであれば、過去に取得した証明書でも構いません。

また、各証明書は、日本語、英語または中国語で書かれているものを有効書類とします。それ以外の言語で書かれている場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた日本語または英語の訳文を提出してください。

なお、Web エントリーの「大学情報」登録および志望理由書の「学歴事項」欄の記入にあたっては、証明書が英語で書かれている場合は大学・学部・学科名を日本語に訳し、中国語で書かれている場合は、日本漢字に置き換え、日本の漢字にないものは意識してください。

例) School of Foreign Languages → 外国語学部

旅游与历史文化学院 → 旅游与歴史文化学部

- (3) 必要に応じて、別途書類の提出を求める場合があります。
- (4) 出願期間内に出願書類が整わない場合、出願を認めないことがあります。
- (5) 出願に関するお問い合わせは、日曜日、祝日および以下の期間以外にお願いします。
 - ・2023年8月1日(火) ～ 9月20日(水)の間の土曜日
 - ・2023年8月11日(金・祝) ～ 8月20日(日)
 - ・2023年12月26日(火) ～ 2024年1月5日(金)

Web エントリーに関する Q&A

Q1 インターネットを利用できる環境が自宅にありません。Web エントリーはどのようにしたらよいですか？

A1 大学等、インターネットを利用できる環境があればどこからでも Web エントリーは可能です。
どうしても Web エントリーができない場合は、Web エントリー開始日までに大学院入試グループへ連絡してください。

Q2 志願票等の書類を印刷できる環境が自宅にありません。志願票等の書類の印刷はどのようにしたらよいですか？

A2 大学等、プリンターが利用できる環境から印刷してください。
どうしても志願票等の印刷ができない場合は、大学院入試グループへ連絡してください。

Q3 Web エントリーで登録した内容に間違いがありました。修正することができますか？

A3 入学検定料の納入前であれば、再度、最初から Web エントリーを行ってください（入学検定料納入後や出願書類提出後は Q4 を参照）。

ただし、登録時に付与された整理番号を利用すれば、前回登録した個人情報をもとに、再度出願内容を入力することができます。

なお、登録を再度行った場合は、前回取得した志願票および各種手続き番号（整理番号、払込票番号等）は破棄してください。前回取得した志願票および各種手続き番号を用いて入学検定料の納入や出願書類の提出をした場合は、出願が完了したことにはなりませんのでご注意ください。

Q4 入学検定料納入後もしくは出願書類の提出後に登録内容の間違いに気づきました。どのようにしたらよいですか？

A4 大学院入試グループへ連絡してください。

Q5 Web エントリー完了時にポップアップがブロックされ、志願票等の書類の印刷ができませんでした。どのようにしたらよいですか？

A5 Web エントリーで登録した情報は整理番号を利用して再度表示することが可能です。

Web エントリー画面の「出願内容を確認する（ログイン）」ボタンから、登録時に付与された整理番号と氏名、生年月日、電話番号を入力・ログインし、「志願票・宛名シートを印刷する」ボタンより印刷してください。

Q6 Web エントリーと入学検定料の支払いが済めば、出願したことになるでしょうか？

A6 いいえ。出願手続は Web エントリー、入学検定料の納入および出願書類の提出のすべてが完了しなければなりません。締切後の手続はできませんので、いずれも余裕を持って所定の期間内に手続を行ってください。

Q7 氏名の文字数が多く、全てを入力するとエラーになります。どうしたらよいですか？

A7 大学院入試グループへ連絡してください。

※ システム上、氏名（漢字）は姓で全角 8 文字以内、名で全角 8 文字以内、氏名（カナ）は姓名あわせて全角カタカナ 14 文字以内の登録しかできません。

関西大学大学院入試情報サイト『お問い合わせ/Q & A』に、
Q & A を掲載していますので、URL もしくは二次元コードより
ご確認ください。

https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/qa/index.html





関西大学大学院

https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/

千里山キャンパス

法学研究科 文学研究科 経済学研究科 商学研究科 社会学研究科 理工学研究科
外国語教育学研究科 心理学研究科 東アジア文化研究科 ガバナンス研究科

問合せ先：入試センター大学院入試グループ

〒564-8680 吹田市山手町 3-3-35 TEL 06-6368-1121 (大代表)

E-mail:grd-adm@ml.kandai.jp

高槻キャンパス

総合情報学研究科

問合せ先：総合情報学部オフィス

〒569-1095 高槻市霊仙寺町 2-1-1 TEL 072-690-3213 (直通)

E-mail:k-soujyo@ml.kandai.jp

高槻ミューズキャンパス

社会安全研究科

問合せ先：ミューズオフィス

〒569-1098 高槻市白梅町 7-1 TEL 072-684-4000 (代表)

E-mail:safety_science@ml.kandai.jp

堺キャンパス

人間健康研究科

問合せ先：堺キャンパス事務室

〒590-8515 堺市堺区香ヶ丘町 1-11-1 TEL 072-229-5022 (代表)

E-mail:sakai1@ml.kandai.jp